



2024年4月

CROWN

[View Cars](#)

想像力のフラッグシップであれ。

時代ごとの幸せを想像すること。それこそが初代から変わらないクラウンの本質。いま、人は何を心地いいと感じるか。どんな時間を大事にしているか。誰と、どんな表情で笑いあっているか。新しいクラウンを思い描くとき、参照するのは過去ではない。これから生きる人の、視線の先に想いを馳せた。リフトアップしたボディの中には、乗る人を想うトヨタの想像力が無数に潜んでいる。豊かな時間にふさわしい佇まいとは。心からくつろげる空間とは。本当に求められている走り、そして安心とは——。例えばあなたが、大切な誰かを想うとき。このクルマが、あなたの優しさや想像力の一部になれば。トヨタクラウン、想像力のフラッグシップ。



POINTS FOR YOU



POINT 「全席特等席」を目指した室内空間。

01

▶どの席も快適な室内



POINT 9.5インチゴルフバッグを3個搭載。

03

▶収納・ラゲージ



POINT 快適便利な次世代マルチメディアサービス。

04

▶コネクティッド



POINT パワフルで伸びやかな加速。

02

▶2.4Lターボデュアルブーストハイブリッドシステム



POINT ドライバーの負担を減らすテクノロジー。

05

▶トヨタチームメイト



POINT 安全を支える、いくつもの先進サポート。

06

▶Toyota Safety Sense

DESIGN

デザイン

まっさらな目から生まれたデザイン。

大径タイヤを履いた新ジャンルカー。先例にとられないアイデアを精緻化することで、かつてないデザインが、そしてクラウンが生まれた。





クラウンのすべては、いい時間のために。



リフトアップしたボディが目線を高くし、見晴らしのよい室内につながる。

Photo: CROSSOVER Z (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスブロンズ(4Y6)はメーカーオプション。内装色のブラック/サドルタンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■画面はハメ込み合成です。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。



景色をゆったり眺める。仕事を進める。室内が心地いいと、移動時間の可能性が広がる。



凛とした佇まいも、
さりげなく宿した乗り降りのしやすさも。





4つのランプに宿る力強い眼差し。

▶4眼LEDヘッドランプ+LEDクリアランスランプ(センターランプ点灯機能&おむかえ照明機能付)/LEDデイライト(センターランプ点灯機能付)+LEDフロントターンランプ+ヘッドランプクリーナー

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



フルLEDがもたらす良好な視界。

▶Bi-Beam LEDヘッドランプ+LEDクリアランスランプ(センターランプ点灯機能&おむかえ照明機能付)/LEDデイライト(センターランプ点灯機能付)+LEDフロントターンランプ

[CROSSOVER G、CROSSOVER Xに標準装備]



フロントと調和するリヤの輝き。

▶LEDリヤコンビネーションランプ

フロントと同様、横一線にシャープな光を放つリヤコンビネーションランプ。ボディ全体でクラウンの印象を深く残します。

安全への配慮を灯す光。

▶LEDハイマウントストップランプ

ブレーキ制動時の後続車への視認性確保と、デザイン性を調和させたハイマウントストップランプです。



悪天候時にも対応。

▶リヤフォグランプ

リヤバンパー中央に2つのリヤフォグランプを設定。雨、雪、霧などの悪天候時に後続車からの被視認性を高めます。

[全車にメーカーオプション]



静粛性にも寄与する機能美。

▶225/45R21タイヤ&21×7½Jノイズリダクションアルミホイール(ダークプレミアムメタリック塗装)&センターオーナメント

[CROSSOVER Zに標準装備]



先進的かつスポーティな大径ホイール。

▶225/45R21タイヤ&21×7½Jアルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)&センターオーナメント

[CROSSOVER RSに標準装備]



足元に上質な個性を。

▶225/55R19タイヤ&19×7Jアルミホイール(切削光輝+ブラック塗装)&センターオーナメント

[CROSSOVER G、CROSSOVER Xに標準装備]



▶225/60R18タイヤ&18×7Jアルミホイール(シルバー塗装)&センターオーナメント

[全車にメーカーオプション]



室内に心地いい開放感を。

▶パノラマルーフ(電動ロールシェード&挟み込み防止機能付^{*1})

前席から後席まで、パノラマルーフが気持ちのいい開放感をもたらします。また、遮光性の高い電動ロールシェードが直射日光をガードし、さらに挟み込み防止機能付で開閉時の安全性にも配慮しました。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーオプション]

*1. 挟まれる物の形状や挟まれ方によっては、挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。 ■パノラマルーフは固定式となります。

USABILITY

室内空間

人間発想の室内です。

クラウンが目指すのは車内の全員が「自分のための空間だ」と思える室内。
全席特等席を叶えるために、形よりもまず、人の心から発想した。





「全席特等席」を目指した室内空間。

▶インテリアの設計コンセプト

運転席：ディスプレイ・メーター・操作機器を水平に集約し、運転中の視線移動や動作を最小化。迷うことなく直感的に運転できるドライビングのための空間です。

助手席：見晴らしのよさと包み込まれるような安心感を目指した造形が、居心地のいいスペースを生み出します。

後席：外の眺めを楽しめるように配慮された大きなリヤドアガラスや、ラウンジのようにゆったりとした空間をつくり出すシートが、移動時間の価値を高めます。



ステアリングから手を離さずに、さまざまな操作が可能。

▶ステアリングスイッチ（マルチインフォメーションディスプレイ・レーダークルーズコントロール・レーントレーシングアシスト・オーディオ・音声認識・ハンズフリー）

マルチインフォメーションディスプレイ内の表示切替や運転支援系、オーディオなどの操作をステアリングから手を離さずに行うことができ、運転に集中できます。

①情報操作系（4方向スイッチ、戻る）

②運転支援系（レーダークルーズコントロール、レーダークルーズコントロールモード切替、レーントレーシングアシスト）

③オーディオ系（音量、音声認識、ハンズフリー、モード選択、選曲・選局）



小気味よく確実なシフト操作を。

▶エレクトロシフトマチック

スムーズな操作で快適に運転を楽しめるよう、シフトポジションを電動で制御するエレクトロシフトマチックを採用。スマートなシフト操作を実現します。シフトノブは、自然に手にフィットする形状と上質な手触りを追求しました。



（左）スマートキー （右）クラウン専用キー

キーを出さずに解錠&施錠、クルマの始動も。

▶スマートエントリー（全ドア）&スタートシステム（スマートキー×2）

[スマートエントリー（全ドア）&スタートシステム（スマートキー×2）は全車標準装備。クラウン専用キーはCROSSOVER RSに標準装備。CROSSOVER Z、CROSSOVER G、CROSSOVER XIに販売店装着オプション]

▲注意：植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、電波によりそれらの機器に影響を及ぼすおそれがありますので、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカー等の機器を近づけないようにしてください。電波発信を停止することもできますので、詳しくは販売店にご相談ください。



乗員それぞれの快適温度に調節可能。

▶3席独立温度コントロールフルオートエアコン（オールオート機能付・S-FLOW：1席/前席集中モード付）

運転席・助手席に加えて後席でもお好みに合わせて温度設定が行えるフルオートエアコンです。さらに、シートヒーター・前席シートベンチレーション・ステアリングヒーターを緻密に自動制御するオールオート機能を採用。お好みの設定温度を決め、12.3インチHDディスプレイの「All auto」スイッチをタッチするだけで、乗員一人ひとりに最適な心地よさを提供します。また、人が乗っていない席の空調を自動で抑制するS-FLOW制御により快適さを維持しながら省燃費も実現します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]

※全車標準装備は、左右独立温度コントロールフルオートエアコン（S-FLOW：前席集中モード付）となります。なお、CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにはオールオート機能も標準装備されています。



お好みに合わせて表示をカスタマイズ。

▶12.3インチTFT*1カラーメーター+マルチインフォメーションディスプレイ(メーター照度コントロール付)

4つのテイスト(Casual/Smart/Tough/Sporty)と3つのレイアウトの中から、お好みに合わせて表示を変えられるメーター。マルチインフォメーションディスプレイは、同時に複数の情報が見られるよう、左/中央/右の3種類を表示します。

*1. TFT[薄膜トランジスタ]:Thin Film Transistor



運転に必要な情報をウインドシールドガラスの視野内に投影。

▶カラーヘッドアップディスプレイ

運転シーンに合わせて切り替え可能な3つの表示モード(フル/スタンダード/ミニマム)をご用意しました。

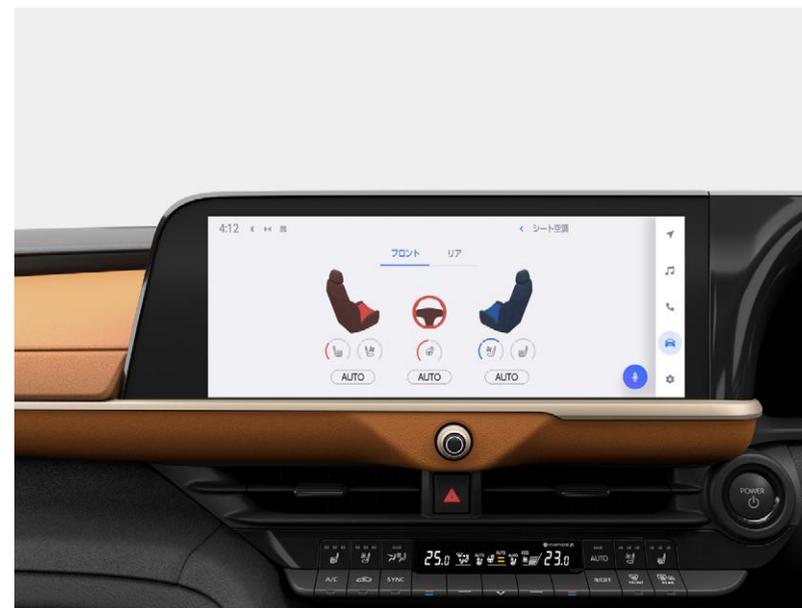
フル:システムの作動状態を大きく、分かりやすく表示

スタンダード:コンテンツを下方に集約し、広い視界を確保

ミニマム:運転に集中するために必要最低限の情報を表示

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]

■表示の明るさは周囲の明るさに応じて自動調節され(任意の操作も可能)、表示位置も任意で調整できます。



シートヒーター操作画面



エアコン操作画面

音声認識

直感的に操作できるインターフェース。

▶ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus

▶ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)

メニューへのアクセスのしやすさ、パーツのわかりやすさ、画面の一貫性を追求した12.3インチHDディスプレイを、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plusとディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)に搭載しています。

[ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus:CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

[ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応):CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]



デジタルミラーモード



鏡面ミラーモード

後方の安全確認をサポート。

▶デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をインナーミラー内のディスプレイに表示。切替レバーを操作することで、鏡面ミラーモードからデジタルミラーモードに切り替えることができます。ヘッドレストや荷物などで視界を遮られずに後方を確認することが可能です。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備。CROSSOVER Gにメーカーオプション]

■走行前に必ずミラーの調整を行ってください。走行中は、デジタルインナーミラーの位置やディスプレイに表示される映像を調整しないでください。また、外部光による反射でディスプレイが見えにくい場合には、鏡面ミラーモードに切り替えてください。 ■体調・年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また着雪や雨滴、汚れ等により映像が見づらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてください。 ■夜間や暗い場所などでは、映像の明るさを自動的に調整するため、特有のちらつきが発生する場合があります。



作動前



作動後

光の度合いを検知し、 後続車のライトの眩しさを緩和。

▶自動防眩インナーミラー

[CROSSOVER Gに標準装備]



ドライバー2名分のポジションを記憶・再現。

▶マイコンプリセットドライビングポジションシステム (ステアリング・シート・ドアミラー/2メモリー付)

運転席に、2名分のステアリング、シート、ドアミラーのポジションを記憶。乗るたびにその状態を再現します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

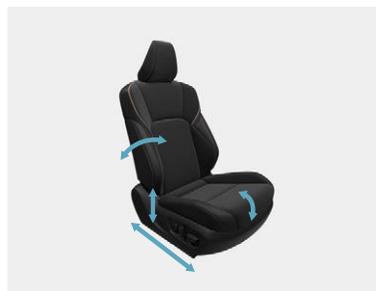


乗降時に、運転席が自動的にスライド。

▶パワーイージーアクセスシステム(運転席)

[チルト・テレスコピック・シート:CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

[チルト・テレスコピックのみ:CROSSOVER Gに標準装備]



写真は運転席

体格に合わせてシートを電動調整。

▶運転席8ウェイパワー&助手席4ウェイパワーシート

運転席は、前後スライド、リクライニング、シート上下、座面前端上下の各調整を無段階に電動で行えます。また、腰部を支えるランバーサポートの2ウェイ調整もスイッチ操作で可能です。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



送風イメージ

吸い込み方式によって、短時間で涼しく。

▶前席シートベンチレーション

背もたれ面と座面に、シート表皮の熱気を吸い込むことで冷涼感をもたらすベンチレーション機能を設定。シート自体がエアコンの冷風を吸い込むため、より短時間で冷涼感を得られます。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



オレンジは、ヒーター加温箇所

寒い日はもちろん、
夏の冷房中にも効果を発揮。

▶シートヒーター(3段階温度設定)

長時間座っていると負担のかかりやすい背中や腰、寒い日に冷えやすい大腿部に快適なぬくもりを伝えます。

[前席:CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

[後席:CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



オレンジは、ヒーター加温箇所



ステアリングヒータースイッチ

ステアリング全周に
ヒーターがあるので快適。

▶ステアリングヒーター

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



さまざまなアイテムを声で操作。

▶音声による車両の操作*1

ステアリングの音声認識スイッチにより、運転中にステアリングから手を離すことなく、ドライビングポジションメモリー、パワーウィンドウ、ワイパーなどを音声で操作することができます。

*1. T-Connect契約とコネクティッドナビのオプション契約が必要です。初度登録日より5年間無料(6年目以降有料)です。

Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスシルバー(1J6)はメーカーオプション。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。

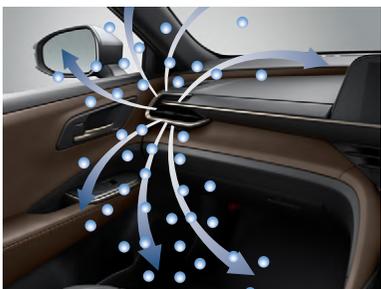


おもてなしの空間を演出。

▶イルミネーテッドエントリーシステム

ドアロック解除などに連動して室内照明が点灯。ドライバーや同乗される方を快くお迎えます。

■写真の色や照度は実際とは異なります。 ■グレードによって設定が異なります。詳しくはP48-49の主要装備一覧表をご覧ください。



■写真はイメージです。

●nano-eX

室内を快適な空気環境へ。

▶ナノイーX*2

ナノイーXは、ナノイーに比べて、効果の元であるOHラジカルをより多く含む微粒子イオンです。助手席側のエアコン吹出口から室内へ放出され、車室内を快適な空気環境に導くナノイーがさらに進化しました。

[ナノイーの技術]

<お肌や髪にやさしい弱酸性>

<ウイルス*、菌**の抑制>

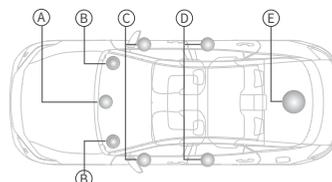
<脱臭***>

★、★★、★★★車室空間での試験による約1時間の効果であり、実使用環境・実使用条件での結果ではありません。*3*4*5

●効果には個人差や作動条件による差があります。

*2. nano-e (ナノイー) = nano-technology + electric 最先端のテクノロジーから生まれた“水に包まれている電気を帯びたイオン”のこと。 *3. 試験機関: (一財) 日本食品分析センター / 試験方法: 実車において付着したウイルス感染価を測定 / 抑制の方法: ナノイーを放出 / 対象: 付着したウイルス / 試験したウイルスの種類: 1種類 / 試験結果: 1時間で99%以上抑制。第20073697001-0101号。報告書日付: 2020年12月4日 *4. 試験機関: (一財) 日本食品分析センター / 試験方法: 実車において付着した菌数を測定 / 抑制の方法: ナノイーを放出 / 対象: 付着した菌 / 試験した菌の種類: 1種類 / 試験結果: 1時間で99%以上抑制。第15038623001-0101号。報告書日付: 2015年5月12日 *5. 試験機関: パナソニックホールディングス株式会社プロダクト解析センター / 試験方法: 実車において布に付着させたタバコ臭を6段階臭気強度表示法による検証 / 脱臭の方法: ナノイーを放出 / 対象: 付着したタバコ臭 / 試験結果: 1時間で臭気強度1.8以上低減。BAA33-150318-M35。

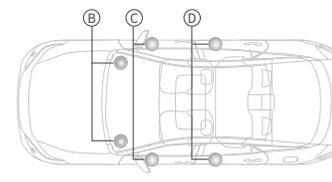
■nano-e、ナノイー及びnano-eマークは、パナソニックホールディングス株式会社の商標です。 ■使用環境によってはナノイーの効果が十分に得られない場合があります。



- (A) 9cmスコーカー
- (B) コアキシャル9cmスコーカー + 2.5cmツイーター
- (C) 18cmドアスピーカー
- (D) 16cmドアスピーカー
- (E) 25cmサブウーハー

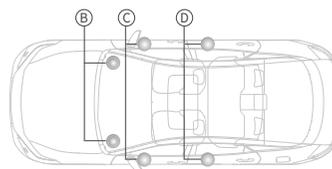


トヨタプレミアムサウンドシステム



- (B) 9cmスコーカー
- (C) 18cmドアスピーカー
- (D) 16cmドアスピーカー

6スピーカーレイアウト



- (B) 9cmスコーカー
- (C) 18cmドアスピーカー
- (D) 16cmドアスピーカー

6スピーカーレイアウト(ディスプレイオーディオレス)

静かな室内に響く上質なサウンド。

▶トヨタプレミアムサウンドシステム(10スピーカー/8chオーディオアンプ)

原音の忠実な再生を追求した、シンプルかつ上質なサウンドシステム。豊かな重低音や繊細な中高音が車内を満たします。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

■日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にロゴを冠しています。 ■トヨタ自動車(株)と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

▶6スピーカー/ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)

[CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

▶6スピーカー/ディスプレイオーディオレス

[CROSSOVER Xに標準装備]



センターコンソール前方



スマートフォンなどをワイヤレスで充電。

▶おだけ充電®(縦置き)

縦置きにすることで、使いやすさとスペース効率を高めています。

トレイ寸法: 幅 約85mm × 厚み 約15mm まで収納可能

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]

■ご利用は、ワイヤレス充電の規格Qi(チー)の認証を取得した機器(ただし、規格Qi2が規定するMagnetic Power Profile [MPP] には非対応)、もしくはQiに対応したアクセサリを装着した機器などに限られます(ただし、Qi2に対応した金属リング等のアクセサリを装着した場合は動作が不安定になり、充電が停止する場合があります)。Qi認証の取得の有無はWireless Power Consortiumのホームページでご確認できます(<https://www.wirelesspowerconsortium.com/>)。 ■トレイ寸法(幅 約85mm × 厚み 約15mm)を超えるQi対応機器(アクセサリ類を含む)は、トレイに置くことができないため、充電はできません。 ■機器に装着するカバーや機種によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず取扱書をご覧ください。 ■「おだけ充電®」、「おだけ充電」ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

▲注意: 植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電気機器を装着されている方は、おだけ充電®のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。充電動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



無理なく、楽に乗り降りできるというおもてなし。

▶優れた乗降性

ボディ全体をリフトアップしながらも、負担を感じることなく乗り越えられる高さ、クルマに乗るときの「敷居」にあたるサイドシル地上高を設定。足つきの良いサイドシル全幅、出入りしやすいドア開口部の形状など、細部に至るまで乗り降りのしやすさを追求しています。

Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスシルバー(1J6)はメーカーオプション。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。



通常時



リクライニング時

お好みの位置にリクライニングで調整。

▶リヤパワーシート(40/20/40分割リクライニング)

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



▶助手席可倒+上下調整式フロントヘッドレスト&運転席・助手席シートアシストグリップ

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



▶電動式リヤサンシェード

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



▶助手席肩口パワーシートスイッチ(シートスライド&リクライニング)

[前席: CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



▶リヤセンターアームレスト(カップホルダー+トランクスルー機能+ボックス+各種コントロールスイッチ付)

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



長い物でも簡単収納。

▶トランクスルー

長尺物の収納に便利なトランクスルーを後席中央に設定しています。



半ドア状態でも確実に閉めるサポート機能。

▶イージークローザー(全ドア・トランク)

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]



足を出し入れするだけで、簡単開閉。

▶ハンズフリーパワードランクリッド(挟み込み防止機能*1付)

スマートキーを携帯していれば、リヤバンパーの下に足を出し入れするだけで、トランクリッドが自動開閉。両手が荷物でふさがっている時などに便利です。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]

*1. 挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時には十分にご注意ください。 ■ハンズフリーパワードランクリッドについては、作動条件についてご注意いただきたい項目があります。詳しくは取扱書をご覧ください。



㉔グローブボックス (LED照明・キー付)



㉕フロントカップホルダー (LED照明付)



㉖ドアポケット (ボトルホルダー付 [フロント2本])



㉗ドアポケット (ボトルホルダー付 [リヤ1本])



㉘センターコンソールボックス (左右両開きタイプ)



㉙ロングブルハンドル&ポケット



㉚リヤセンターアームレスト (カップホルダー+トランクスルー機能+ボックス+各種コントロールスイッチ付) [CROSSOVER RS、CROSSOVER Zにメーカーパッケージオプション]



㉛リヤセンターアームレスト (カップホルダー+トランクスルー機能付)



㉜サンバイザー (バニティミラー・LED天井照明・チケットホルダー付)



㉝シートバックポケット (運転席・助手席)



㉞充電用USB端子 (Type-C/センターコンソール前部2個・LED照明付)



㉟充電用USB端子 (Type-C/センターコンソール後部2個・LED照明付)

使い勝手のいい収納アイテムを隅々に。

■左下の前席空間の写真はCROSSOVER Z (2.5Lハイブリッド車)。㉞の写真はCROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。それ以外の写真はCROSSOVER G (2.5Lハイブリッド車)。 ■写真は停車状態のイメージです。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。



㉟通信/充電用USB端子 (Type-C/センターコンソールボックス内側1個) [CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]



㊱アクセサリースOCKET (DC12V・120W/センターコンソールボックス内側1個)



■写真はスベアタイヤ非装着車。



ゴルフバッグ3個収納*2

ゴルフバッグは3個*2まで収納可能。

▶ラゲージスペース

下段に9.5インチゴルフバッグを2個搭載(左側ホイールハウスにヘッド部を収納した状態で搭載)し、上段には右側がヘッド部になるように9.5インチゴルフバッグを1個搭載することで、9.5インチゴルフバッグを3個まで収納可能となります。

*1. スベアタイヤを選択した場合、432Lになります。 *2. 9.5インチゴルフバッグ。ゴルフバッグの形状によっては収納できない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。 ■数値は社内測定値。



全車標準装備のタイヤパンク応急修理キット装着時。

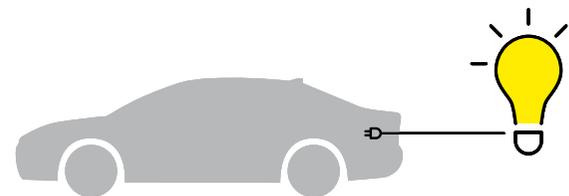


メーカーオプションのスベアタイヤ装着時。
※スベアタイヤとジャッキ、ジャッキハンドル、ホイールボルトレンチ、ガイドピン、ホイールボルトソケットはセットでメーカーオプション。

タイヤトラブルに備えたアイテムを収納。

▶デッキアンダートレイ

■写真はデッキボードを取り外した状態です。

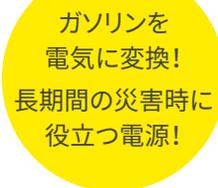


電力供給時間

約6.2日

(ガソリン満タン/消費電力400W時)

※2.5L ハイブリッド車の場合



センターコンソール後部



ラゲージルーム右側

停電などの非常時に電気製品が使える。

▶アクセサリコンセント(AC100V・1500W/非常時給電システム付/センターコンソール後部1個・ラゲージルーム右側1個)

コンセント(AC100V・1500W)を、センターコンソール後部とラゲージルーム右側の2カ所に設置。非常時給電システムを使用することで、災害などによる非常時に電力が必要なとき、車両の走行機能を停止した状態で、AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使用できます。

コンセントを安全にお使いいただく上の注意事項

●AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使用してください。規定容量を超える電気製品を使用すると、保護機能が働き、給電機能が停止することがあります。 ●複数の電気製品に給電する場合、電気製品によっては正常に作動しない可能性があります。その場合は、単独で電気製品を使用してください。 ●使用する電気製品によっては、大きな電流が流れ、瞬間電力が1500Wを超えることがあります。この場合、保護機能が働き、給電機能が停止することがあります。

■正しく作動しないおそれがある電気製品

次のようなAC100Vの電気製品は、消費電力の合計が1500W以下でも正常に作動しないおそれがあります。

●起動時の電力が大きい電気製品 ●取扱説明書などに記載されている消費電力よりも大きな供給電力を必要とする電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品 ●タイマー設定する機器など、コンセントの出力が連続して必要な電気製品

■アイドリングストップ条例について

駆動用電池の残量減少などにより、自動でエンジンが始動し、充電を行います。一部の自治体では、駐車または停車中にエンジンを始動した場合、条例にふれる可能性があります。アクセサリコンセント、非常時給電システムの使用については関係する自治体に確認した上で、適切に使用してください。

■接続する電気製品について

●使用する電気製品に付属の取り扱い説明書や、製品に記載されている注意事項を必ずお守りください。 ●車両の状態によっては、一時的に給電機能が停止することがあるため、医療機器は使用しないでください。 ●工場出荷時、車両側の電源周波数は、50Hzに設定されています。コンセントと電源周波数が異なる電気製品を使用しないでください。誤作動や故障などの原因になることがあります。電気製品によっては、電源周波数の切りかえ(50/60Hz)機能があるので、車両と電気製品の電源周波数を同じにしてください。車両側の電源周波数切りかえが必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。 ●コンセントは、照明器具などの電気製品と直接接続して使用するものです。家屋などへ電気を供給する発電機として使用しないでください。また、家屋などに設置されている非常時の給電システム(外部電源と接続ができる専用設備、外部電源からの供給回路が電力会社からの電気配線と分離されている設備など)に使用する場合は、当該システムの製造業者または販売業者に相談してください。 ●駆動用電池の残量減少により、自動的にガソリンエンジンが作動します。車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏や排気ガスの充満、滞留を防ぐため、給排気を可能とする関連装置などを適切に設置して、使用してください。設置できない場合は使用しないでください。 ●暖房器具などの電気製品を使用して車中に泊まる際は、十分注意してください。給電システムの自動停止などにより、電気製品が意図せず停止するおそれがあります。

PERFORMANCE

走行性能

乗る者だけが知る感覚。

他にない乗り心地と静けさ。速度を上げてもそれは維持される。フラッグシップの走りとは。シートに預けた体が、一番よく知っている。





クラウンの新しいデザインと走りを支えるボディ。

▶プラットフォーム

大径タイヤによってリフトアップした新シルエット、優れた乗降性の確保、フラットな乗り味と気持ちのいい走り。この3つを満たすためのプラットフォームを追求しました。大径タイヤによるリフトアップは、TNGAプラットフォームを改良することで実現。乗降性と走行性能に対しては、サイドシルの高さを低配置化した床面と、eAxle^{*1}、マルチリンクサスペンションを搭載できるリヤ骨格を新開発することで達成。クラウンの新しいデザイン性、快適性、走行性能を支えるプラットフォームです。

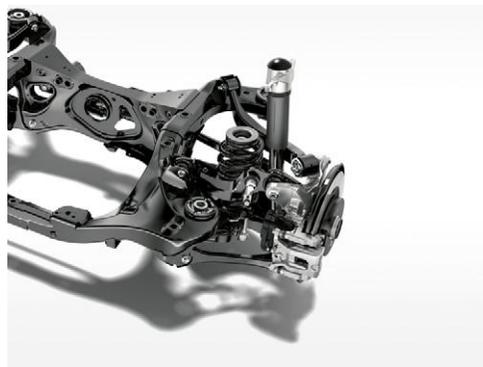
*1.CROSSOVER RSに標準装備となります。

▶高剛性ボディ

クルマとの一体感を醸成し、思い通りのトレースを実現するために、ステアリングサポートの剛性向上をはじめ、結合剛性を高める「レーザースクリューウェルディング(LSW)」や構造用接着剤などを採用。隅々まで剛性を追求したボディが、乗り心地のよさと滑らかな走りをもたらします。



フロント



リヤ

意のままの走り、上質な乗り心地を。

▶サスペンション

フロントにはマクファーソンストラット式を、リヤにはマルチリンク式を採用。クラウンらしい、どっしりとした直進安定性、もっと走りたくするような軽快さ、一体感のあるダイレクトなステアリングフィールを目指しました。さらに、目線のぶれないフラット感と振動の少ない落ち着いた乗り心地を追求。意のままに操ることができる操縦性と安定性、そしてリラックスできる心地よさを提供します。



会話を妨げない、心地よい静粛性を。

▶クラウンの防音対策

室内の静粛性を高めるために、ノイズが発生・侵入するわずかな原因にも着目。遮音材・吸音材・制振材の最適配置や、風切音を抑制するためのドアミラーの最適形状化などのほか、車内のこもり音をスピーカーからの制御音で打ち消し、静粛性を一段と向上させる「アクティブノイズコントロール」を採用しています。また、エンジンこもり音対策のため、CROSSOVER RSではモーターによる制振制御を実施しました。

Photo:CROSSOVER RS (2.4ターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×プレシャスメタル(1L5) [2ZA]はメーカーオプション。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。 ■写真は合成です。



床下整流

新シルエットと走りを両立。

▶空力性能

接地性を確保した上質な走りを実現するため、外観に影響を与えない床下を中心に空力アイテムを設定。フロアアンダーカバー面積を拡大するとともに、床下流速を高め、ダウンフォースを発生させるエアロスタビライジングアンダーボディステップを新たに開発。流れの乱れを極限まで低減し、フラットな走りを目指しました。加えて、空気抵抗の低減を図るグリルシャッターを、CROSSOVER Z、CROSSOVER G、CROSSOVER Xに標準装備しています。



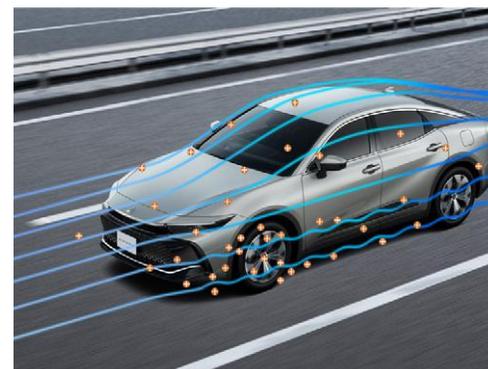
緑は除電スタビライジングプラスシート機能搭載位置。写真は本革シート

流れの乱れを低減することで、走りやすさに貢献。

▶除電スタビライジングプラスシート(運転席)

運転席の一部に除電機能付表皮を設定し、タイヤ周りの帯電を低減することで、安定した車両挙動に貢献し、より疲れにくく気持ちのいいドライビングに寄与します。[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]

■除電機能付表皮の範囲は、本革シートと上級ファブリック+合成皮革シートで異なります。



除電スタビライジングプラスシートなしのイメージ



除電スタビライジングプラスシートありのイメージ:走行によるタイヤ周りの帯電を低減することで、タイヤ周りの流れの乱れを低減



優れた動力性能と低燃費を両立。

▶2.5Lハイブリッドシステム

アクセル操作に対する応答性のよさと、パワフルでスムーズな加速を実現するため、新開発のバイポーラ型ニッケル水素電池を採用。低速でのレスポンス向上、電池出力を活用した中～高速域でのダイレクトな加速を実現しました。また、徹底したシステム効率の追求により、優れた燃費性能も確保しています。



低燃費、高出力、高レスポンスを追求。

▶2.5Lエンジン

高圧縮比・ロングストローク化に加え、吸気バルブの開閉タイミングを最適制御する「VVT-iE」や、筒内直噴と吸気ポート噴射の2つのインジェクターを持ち、高い燃焼効率を可能にする「D-4S」を採用。また、電動ウォーターポンプを備えた可変冷却システムや、低フリクションオイルなどにより、燃費性能も高めています。

■VVT-iE: Variable Valve Timing-intelligent by Electric motor (電動連続可変バルブタイミング機構【吸気側】)

■D-4S: Direct injection 4 stroke gasoline engine Superior version



燃費と走りの両立を目指して。

▶電気式無段変速機

低燃費と優れた動力性能を両立した電気式無段変速機です。

Photo: CROSSOVER Z (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのブラック<227>×プレシャスブロンズ<4Y6> [2XZ]はメーカーオプション。

■写真は合成です。

2.5L ENGINE A25A-FXS × TOYOTA HYBRID SYSTEM II

システム最高出力*1

172kW (234PS)



<Z>

WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値)

22.2 km/L

E-Four 市街地モード :20.9km/L

郊外モード :23.6km/L

高速道路モード :21.9km/L

<G、X>

WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値)

22.4 km/L

E-Four 市街地モード :21.2km/L

郊外モード :23.8km/L

高速道路モード :22.1km/L



パワフルかつリニアな加速フィーリング。

▶2.4Lターボ デュアルブーストハイブリッドシステム

最大トルク460N・mの2.4L直列4気筒ターボエンジンと、後輪に搭載したeAxleを組み合わせた新開発の「デュアルブーストハイブリッドシステム」をトヨタで初めて採用しました。アクセル操作に対する駆動力の遅れが少なく、トルクフルで伸びやかな加速により、爽快なドライビングフィールを実現。また、リズムカルで気持ちのいい変速感も持ち味です。



ドライバーの気持ちに応える伸びやかな加速。

▶2.4L直列4気筒ターボエンジン

高い加速応答性と十分な駆動力を持ち、ペダル操作に対して気持ちよく伸びる新開発デュアルブーストハイブリッド用2.4L直列4気筒ターボエンジン。TNGAエンジン技術をベースに、センター直噴システムと高効率ツインスクロールターボにより高い燃焼効率を実現する「D-4ST」、運転状態にあわせて最適な制御を実現する可変冷却システムなどを採用。優れた環境性能と低燃費でありながら、高トルクを生かした力強い伸び感のあるダイナミックな走りを実現しています。

■D-4ST: Direct injection 4 stroke gasoline engine Superior version with Turbo



アクセル操作に呼応する加速をもたらす。

▶Direct Shift-6AT

ダイレクト感あふれる走りを目指した6ATです。アクセル操作に対する期待通りの車両応答が得られるようにする発進クラッチシステムや、走行シーン毎の適切なギヤ段選択とエンジンおよびモータートルクをきめ細やかに制御するパワートレーン統合制御を採用。アクセル操作に対して遅れない加速と素早い変速を実現したことで、扱いやすさと走りの楽しさを追求しました。また、ドライバーが自由にギヤ段の選択・固定が可能なMモードを採用。マニュアル感覚の操作が楽しめます。

[パドルシフトはCROSSOVER RSに標準装備]

2.4L TURBO ENGINE T24A-FTS × DUAL BOOST HYBRID SYSTEM

システム最高出力*1

257kW (349PS)



WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値)

15.7 km/L

E-Four 市街地モード :12.6km/L

Advanced 郊外モード :15.8km/L

高速道路モード :17.6km/L

■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

*1. エンジンとモーターにより、動力性能として発揮できる出力。社内算定値。 ■写真はイメージです。 ■装備類の詳しい設定は、P48-49の主要装備一覧表をご覧ください。



雪道などでの走りも安心。

▶E-Four (電気式4WDシステム)*1

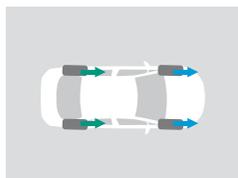
加速時や雪路などの滑りやすい路面で、スムーズに4WD状態へ切り替えることで、発進性、走行安定性を賢くアシストするE-Four。走行状態に合わせて前後輪トルク配分を100:0~20:80の間で緻密に制御します。効率的なトルク配分(直進時)に加え、コーナリングではリヤの駆動力配分を大きくし、燃費への貢献と旋回中の車両安定性向上を両立しました。
[CROSSOVER Z、CROSSOVER G、CROSSOVER Xに標準装備]

*1. E-Fourは、機械式4WDとは機構および性能が異なります。さまざまな走行状態に応じてFF(前輪駆動)走行状態から4WD(4輪駆動)走行状態まで自動的に制御し、安定した操縦性・走行の安定性および燃費の向上に寄与するものです。

Photo: CROSSOVER G (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスブロンズ(4Y6)はメーカーオプション。
■写真は合成です。 ■路面の状況、勾配、高速等の走行環境によってはガソリン4WD車に比べ、十分な駆動力が得られない場合があります。

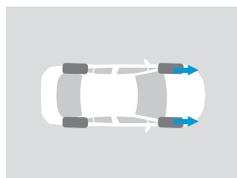


マルチインフォメーションディスプレイ内の前後輪トルク配分量表示各輪にかかる駆動力(トルク)が大きい場合には目盛りの数が増加し、小さい場合には減少します。後輪の目盛りの数が少ないときはシステムが安定走行と判断し、燃費に寄与するために4WD機能を抑制している状態です。



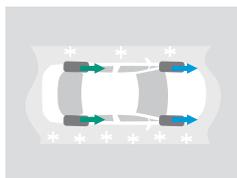
■発進時<4WD>

後輪へトルクを配分して、通常の道では発進性をアシスト。滑りやすい道ではタイヤのスリップ量や坂道に応じて最適なトルクを配分し、安定した発進をサポート。



■定常走行<2WD>

定常走行時は、賢く制御して2WDに切り替え。燃費にも貢献。



■雪路など走行時<2WD→4WD>

スリップを検知すると、スムーズに4WDへ切り替え。



■コーナリング時<4WD>

ステアリング舵角入力により4WDに切り替えることで優れたライントレース性を実現。

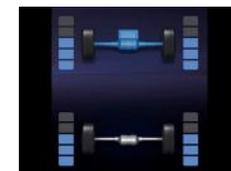


通常走行からアグレッシブな走行まで、気持ち良い上質なコントロールを。

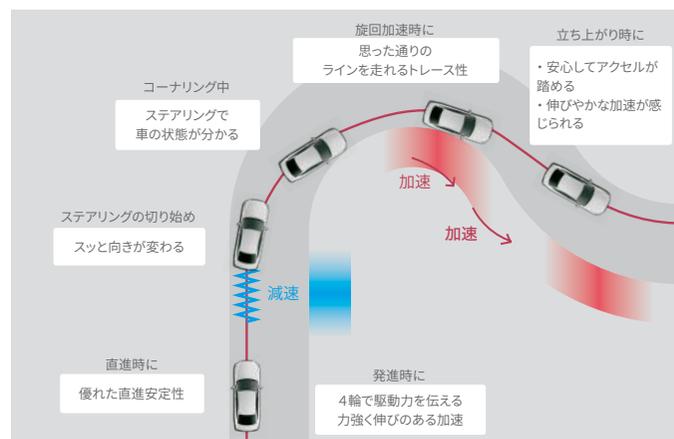
▶E-Four Advanced (電気式4WDシステム)*2

2.4Lターボデュアルブーストハイブリッドシステムでは、リヤモーターに大出力の4WDシステム「E-Four Advanced」を採用しました。走行状態に合わせて前後輪トルク配分を100:0~20:80の間で緻密に制御し、さまざまな路面での高いトラクション性能と操縦安定性を実現。発進時、直進加速時は、車両のピッチングを抑え、ダイレクトな加速感が得られるように、60:40~40:60程度で制御。コーナリング時には車速、舵角などの情報を用いて、走行状態に合わせた駆動力配分とすることで優れた操縦安定性に寄与します。ステアリングの切り始めから旋回中はほぼ50:50の駆動力配分とし、コーナー脱出時はリヤ寄りの駆動力配分(50:50~20:80)とすることで、トラクション性能の確保や車両のピッチングの抑制をしながら、狙った通りのラインをトレースできる旋回フィーリングを実現しています。

[CROSSOVER RSに標準装備]



マルチインフォメーションディスプレイ内の前後輪トルク配分量表示各輪にかかる駆動力(トルク)が大きい場合には目盛りの数が増加し、小さい場合には減少します。後輪の目盛りの数が少ないときはシステムが安定走行と判断し、燃費に寄与するために4WD機能を抑制している状態です。



*2. E-Four Advancedは、機械式4WDとは機構および性能が異なります。さまざまな走行状態に応じて前後輪の駆動力配分を自動的に制御し、安定した操縦性・走行の安定性および燃費に寄与するものです。
Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×プレシャスメタル(1L5) [22A]はメーカーオプション。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。 ■写真は合成です。

ドライブモードセレクトの制御

		パワートレーン	シャシー	エアコン
AVS非装着車 [CROSSOVER Z、 CROSSOVER G] ※CROSSOVER Xは メーカーオプション	ECO	穏やかな加速	標準状態	燃費優先
	NORMAL	標準状態		
	SPORT	鋭い加速	スポーツ制御 (ステアリング制御、DRS制御)	標準状態
	CUSTOM	各モードを自分好みの組み合わせに設定可能		

		パワートレーン	シャシー	エアコン
AVS装着車 [CROSSOVER RS]	ECO	穏やかな加速	標準状態	燃費優先
	NORMAL	標準状態		
	SPORT	鋭い加速	スポーツ制御 (ステアリング制御、 DRS制御、AVS制御)	標準状態
	REAR COMFORT	穏やかな加速	乗り心地重視*1 (ステアリング制御、 DRS制御、AVS制御)	標準状態
	CUSTOM	各モードを自分好みの組み合わせに設定可能		

走りのテイストを自由に選択。

▶ドライブモードセレクト

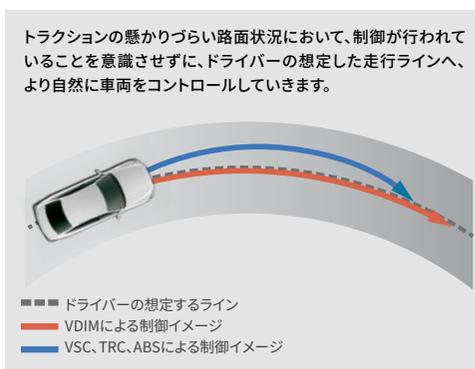
走行シーンやドライバーの気分に合わせて走りのテイストをチェンジできるドライブモードセレクトに、「REAR COMFORT」モードを新たに搭載。路面の細やかな凹凸をより一層伝えにくい上質な乗り味で、くつろぎの後席空間を提供します。

■ECOモード以外のモードを選択して走行後、ハイブリッドシステムを停止すると、自動的にNORMALモードに切り替わります。

静けさに配慮した走行。

▶EVDドライブモード*2

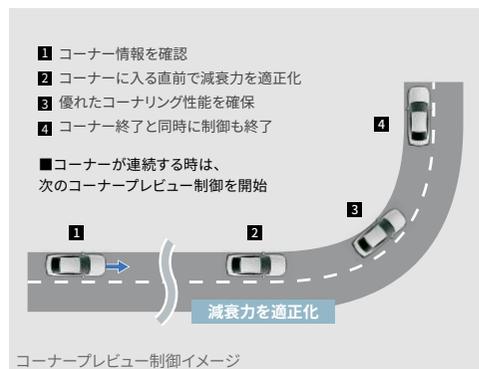
モーターのみで静かに走行。早朝や深夜などエンジン音が気になる時や排出ガスを抑えたい時に便利です。[CROSSOVER Z、CROSSOVER G、CROSSOVER Xに標準装備]



「走る・曲がる・止まる」を統合的にコントロール。

▶VDIM

エンジン、ブレーキ、ステアリングなどの機能をひとつのシステムとして統合制御することで、高い予防安全性と理想的な運動性能を両立させる、先進の車両運動制御システムです。従来のEBD付ABS、VSC、TRC、EPSがそれぞれ限界付近で制御を開始するのに対して、VDIMはより早く、限界領域にいたる前に制御を開始して、クルマの挙動をよりスムーズにコントロールします。

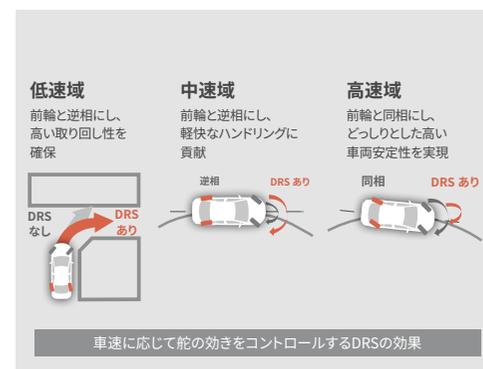


コーナリング時に安定感をもたらす。

▶NAVI・AI-AVS

状況に応じて減衰力を制御するサスペンションシステム「AVS」と、ナビゲーションシステムを融合。ナビゲーションコンピューターより受信した車両前方のコーナー情報をもとに、あらかじめショックアブソーバーの減衰力を最適に制御し、コーナリング時の安定感をもたらします。

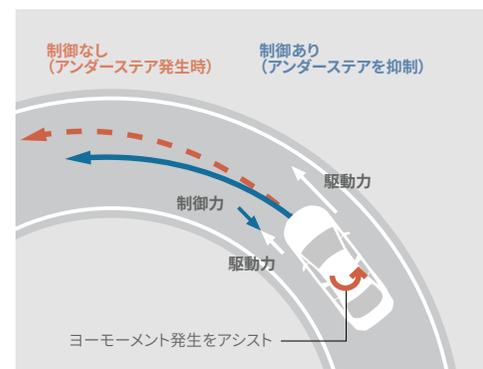
[CROSSOVER RSに標準装備]



車速に応じて後輪の向きを調整し、安定した走りをもたらす。

▶DRS

車速に応じて、後輪の向きを前輪と逆向きまたは同じ向きに制御することで、シームレスかつ自然なハンドリングを叶えるDRS。低速域では最小回転半径の低減に寄与し、高い取り回し性を実現。また、中速域ではドライバーの意図通りの気持ちいいコーナリングを、高速域では高い車両安定性をもたらします。さらに、ドライブモードセレクトやVDIMとも連携し、最適な車両挙動を実現します。



コーナリングでの優れた旋回性能を確保。

▶ACA制御

ワインディング走行等のシチュエーションにおいて、ブレーキ制御により内輪の駆動力を調整し、コーナリングをアシストします。

SAFETY

安全性能

見えないパートナーが見守っています。

予防安全パッケージや、スイッチ一つで駐車ができる機能。

安心を見守るいくつものテクノロジーが、見えないパートナーとなって並走する。





Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×マッシュグレー(116) [2XY]はメーカーオプション。

人とクルマの協調を実現する、新たな先進技術を採用。

▶トヨタチームメイト*1

Point 1

先進機能を駆使して多様な駐車シーンを支援。

■トヨタチームメイト
[アドバンストパーク]

▲トヨタチームメイト[アドバンストパーク・アドバンストドライブ(渋滞時支援)]を安全にお使いいただく上での 注意事項説明

■アドバンストドライブ(渋滞時支援)は自動で運転するシステムではありません。本システムは道路の形状・状態・交通状況や運転者の状態に応じて、運転者への情報提供や運転支援を行います。常に周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)は周囲の状況・道路の状態・運転者の状態によっては作動しない、または作動を中断することがあります。また、常に同じ性能を発揮できるものではありません。システムを過信せず安全運転に努めてください。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)の認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であっても運転者自身の操作で安全を確保する必要があります。運転者は自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるように備えてください。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)が正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)は地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、常に周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。常に視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください(ヘッドランプ/ワイパー/フロントデフロスター・リヤウインドウデフォグカー・ドアミラーヒーター)。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)は状況に応じてディスプレイ表示でステアリングの保持を促すことがあります。その際はただちに運転者自身でアクセル・ブレーキ・ステアリング操作を行い、安全を確保してください。 ■例えば次のようなシーンでは自動車専用道路上でもアドバンストドライブ(渋滞時支援)は作動しません(中央分離帯がポール等で区切られている暫定供用区間、サービスエリア、料金所、路線新設された道路等)。 ■例えば次のようなものの検出には限界があります。必要に応じて自らハンドル・アクセル・ブレーキを操作してください(自車の前方に割り込みがあったとき、他車が接近してきたとき、工事区間、落下物等)。 ■衝突等の事故発生時にドライバーモニターカメラによる映像を記録することがあります。 ■アドバンストドライブ(渋滞時支援)は地図情報をもとに作動します。ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)でT-Connect・コネクティッドナビの契約が切れている場合、地図情報が利用できなくなるのでアドバンストドライブ(渋滞時支援)は作動しません。継続的に利用するには、T-Connect・コネクティッドナビの契約更新が必要です。ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plusは、T-Connect・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、アドバンストドライブ(渋滞時支援)の継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、常に周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。 ■公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。 ■アドバンストパークは、あくまで運転を支援する機能です。システムを過信せず、必ずドライバーが責任を持って周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。 ■アドバンストパークは、駐車環境や周辺状況によっては使用できない場合があります。詳しくは販売店でご確認ください。 ■アドバンストパークを使用するためには、字光式ナンバープレートは装着できません。 ■詳しくは販売店におたずねください。

*1.「トヨタチームメイト」は、将来の自動運転へとつながる新たな先進技術の総称です。 *2. 目標駐車位置が複数ある場合は変更可能。

■写真は合成です。 ■画面はハメ込み合成です。 ■イラストは作動イメージです。 ■イラストのカメラ・レーダーの検知範囲はイメージです。 ■装備類の詳細設定は、P48-49の主要装備一覧表をご覧ください。

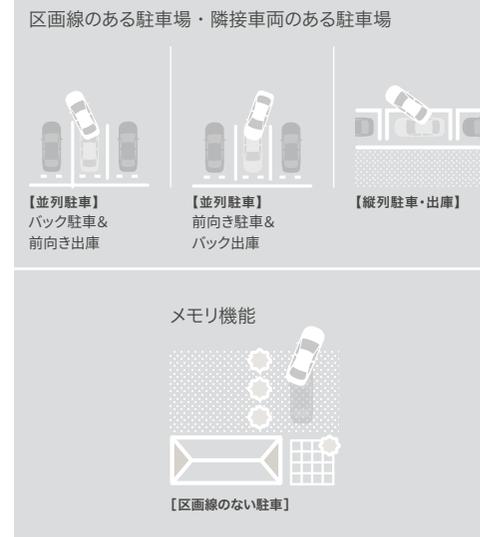
高度運転支援で、駐車をもっとスムーズに。

▶トヨタチームメイト[アドバンストパーク]

スイッチを押すだけで駐車操作を支援してくれるアドバンストパークがさらに進化。並列駐車においては従来のバック駐車に加え、前向き駐車、バック出庫、前向き出庫が可能になりました。ステアリング、アクセル、ブレーキ、シフトの全操作をクルマが支援してくれるため、安心してラクに止められます。また、カメラやソナーによって、周囲を監視しながら駐車を支援。障害物を検知した場合には警報を鳴らし、ブレーキ制御を行うことで接触回避を支援します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

詳しくは▶



使用できる環境



<並列バック駐車の手順>



スマートフォン操作で、すばやく簡単に駐車。

▶リモート機能

アドバンスト パークを選択した場合、車外から専用スマートフォンアプリ「Remote Park」を操作*1することで、遠隔で駐車、出庫が可能となるリモート機能付となります。並列・縦列駐車および出庫が可能。出庫後にトランクリッドから荷物を積みたい時や、お子様や高齢者の方が広い場所で安全に乗り降りする時などに便利です。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

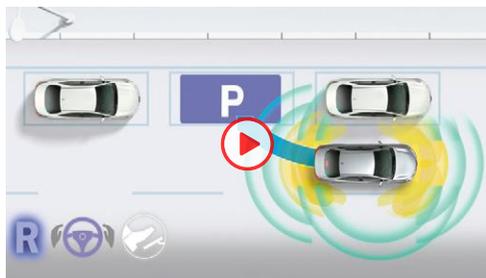
*1.スマートフォン操作は、スマートキーを携帯したドライバーが行う必要があります。なお、デジタルキーのみを携帯し、アドバンスト パーク(リモート機能付)のスマートフォン操作をすることはできません。 ■リモート機能のご利用には別途対応可能なスマートフォンが必要です。 ※機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。 ※動作確認済スマートフォンの一覧は、こちら(https://toyota.jp/info/ap_remote/images/remotepark_confirmed.pdf)よりご確認ください。

Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスメタル(1L5)はメーカーオプション。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。



好きな方から駐車 & 出庫できる。

▶並列前向き駐車



街中で多い縦列駐車にもスムーズに対応。

▶縦列駐車



▶並列バック駐車



▶並列バック駐車



白線・隣接車両がない駐車場でも使える。

▶メモリ機能

事前に駐車位置を登録することで、区画線のない駐車場や隣接車両がない環境下での駐車操作もアシスト可能です。



渋滞時支援で高速道路・自動車専用道路走行時の運転負荷を軽減。

▶トヨタチームメイト[アドバンスト ドライブ(渋滞時支援)]

高速道路・自動車専用道路*2での運転において、渋滞時(0km/h~約40km/h)にレーダークルーズコントロールおよびレーントレーシングアシスト作動中にドライバーが前を向いているなど一定の条件を満たすとシステムが作動。認知、判断、操作を支援することで、ドライバーは渋滞時の疲労の軽減が可能となり、より周囲に注意を払った安全運転が可能になります。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

*2. 一部を除く高速道路、自動車専用道路の本線。このシステムは自動車専用道路判定でナビ地図データを使用します。ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)でT-Connect・コネクティッドナビの契約が切れている場合、地図情報が利用できなくなるのでアドバンスト ドライブ(渋滞時支援)は作動しません。継続的に利用するには、T-Connect・コネクティッドナビの契約更新が必要です。ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus は、T-Connect・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、アドバンスト ドライブ(渋滞時支援)の継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、常に周囲の状況を把握し、運転者の責任においてシステムを使用してください。

Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(22T)×プレシャスメタル(1L5) [2ZA]はメーカーオプション。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。

渋滞時のストレスを軽減。

■渋滞時の再発進はドライバーの操作なしで実施

停車後、約3分以内に先行車が再発進した場合は、ドライバーが前方を監視しているときに限り、スイッチ操作をすることなく再発進します(既存レーダークルーズコントロールは3秒以内)。停止・発進を繰り返す渋滞時のストレスを軽減します。

救命・救護をサポート。

■ドライバー異常時対応システム

詳細は P29 をご参照ください。

⚠ 機能を過信せず、常に周囲の状況を把握し安全運転を心掛けてください。

①車線内維持および先行車追従中

ハンドルを保持



②ドライバーが安全確認できる状態であるとシステムが判断した場合、システムの開始を表示



③ステアリングから手を放して走行できる状態

周辺監視状態で使用



※アドバンスト ドライブ(渋滞時支援)は自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるように備えてください。

レーダークルーズコントロール
レーントレーシングアシスト

渋滞時運転支援機能



ドライバーモニターカメラ

■ドライバーモニターカメラで運転者が周囲の状況を確認し、運転操作できる状態であるかシステムが判断します。システムが運転操作ができない状態と判断した場合は、ブザーとディスプレイ表示で注意喚起を行います*3。
*3.周囲の状況やドライバーポジションによっては注意喚起が作動しないことがあります。ドライバーモニターは運転者の不注意行動や姿勢崩れを未然に防ぐものではありません。常に周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

進化を続ける先進の予防安全パッケージ。

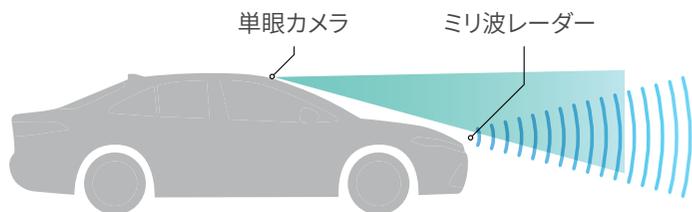
Toyota Safety Sense



POINT 1 先進機能が、多くの状況でドライバーをサポート。

- プリクラッシュセーフティ……ぶつからないをサポート
- レーンレーシングアシスト……高速道路のクルージングをサポート
- レーンディパーチャーアラート……はみ出さないをサポート
- レーダークルーズコントロール……ついていくをサポート
- アダプティブハイビームシステム/オートマチックハイビーム……夜間の見やすさをサポート
- ロードサインアシスト……標識の見逃し防止をサポート
- ドライバー異常時対応システム……救命・救護をサポート
- プロアクティブドライビングアシスト……安全運転をさりげなくサポート
- 発進遅れ告知機能……先行車・信号出遅れ防止をサポート
- 緊急時操舵支援（アクティブ操舵機能付）……操舵回避をサポート
- フロントクロストラフィックアラート……出会い頭の事故防止をサポート
- レーンチェンジアシスト……高速道路の車線変更をサポート

POINT 2 2種類のセンサーで高い認識性能と信頼性を両立。



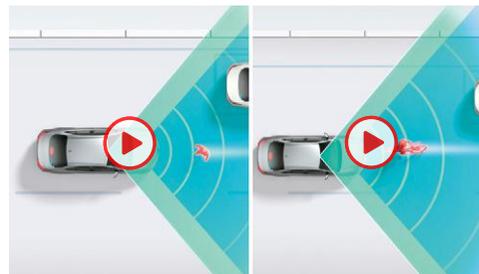
クラウンは全車「セーフティ・サポートカーS(ワイド)」です。

セーフティ・サポートカーS(ワイド) (サポカーS(ワイド))は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。

ぶつからないをサポート。

▶プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)



■直進時の歩行者・自転車検知機能



■直進時の自動二輪車検知機能

直進時の衝突回避・被害軽減をサポート。

■直進時の車両・歩行者検知機能

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼夜)、自動二輪車(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約5~80km/hの速度域で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両や自動二輪車に対しては自車が約5km/h以上で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

■道路状況、交差点の形状、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。 ■プリクラッシュセーフティはあくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。 ■数値は社内測定値。



[自車右折時、直進してくる対向車を検知。]



[自車右左折時、横断する歩行者や自転車運転者も検知。]

交差点での検知にも対応。

■「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の横断歩行者・自転車運転者検知機能

交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に横断する歩行者や自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点での検知は隣接2レーンまでの対向車に作動領域を拡大しています。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

■交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。■プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

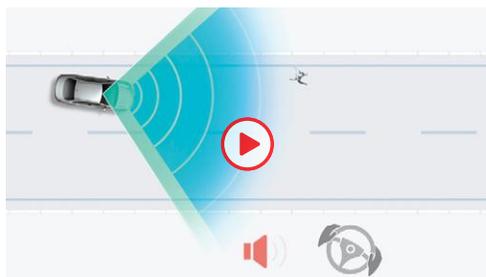


交差点での出会い頭時の検知にも対応。

■「交差点」出会い頭時の車両・自動二輪車検知機能

交差点に進入する際、交差する車両や自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

■交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。■プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



ドライバーによる回避操舵をきっかけに操舵と車線逸脱抑制をサポート。

■緊急時操舵支援機能

歩行者、自転車運転者、車両、自動二輪車と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。

■回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。■横断歩行者など一定以上の速度を持った対象には作動しない場合があります。

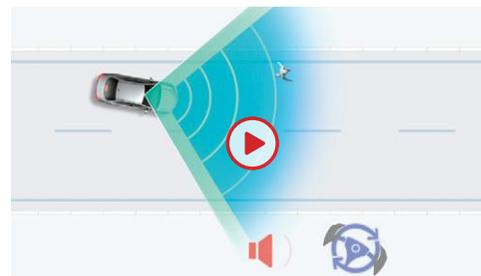


低速時の自車直前にいる歩行者、自転車運転者、車両検知機能により衝突回避・被害軽減をサポート。

■低速時加速抑制機能

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、ハイブリッドシステム出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

■本機能はパーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の対象物である壁などに対しては作動しないシステムで、パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の代替機能となるシステムではありません。



[自車線内の歩行者、自転車運転者、車両、自動二輪車との衝突回避を支援]

操舵回避をサポート。

▶緊急時操舵支援（アクティブ操舵機能付）

歩行者、自転車運転者、自動二輪車、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがある場合、ドライバーによる操舵がなくてもシステムが弱いブレーキをかけながら操舵を行い、車線内での衝突回避を支援します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

■回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。■横断歩行者など一定以上の速度を持った対象には作動しない場合があります。



出会い頭の事故防止をサポート。

▶フロントクロストラフィックアラート [FCTA]

交差点に進入する際など、左右から接近する車両を検知。車両が接近しているにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合は、ブザーと表示で注意を促します。また、カラーヘッドアップディスプレイ装着車では車両が近づいてくる方向をアニメーションで表示し、ドライバーが気づきやすい注意喚起を行います。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。■フロントクロストラフィックアラート [FCTA] はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。

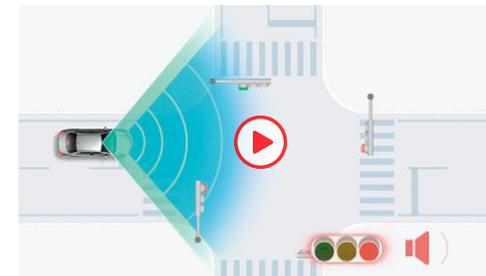


標識の見逃し防止をサポート。

▶ロードサインアシスト [RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識をマルチインフォメーションディスプレイに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従ってないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

■RSA: Road Sign Assist ■道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。



赤信号の告知機能

■赤信号の告知機能

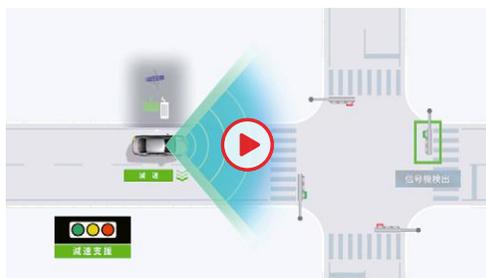
赤信号を認識している場合に、信号を見落として交差点に進入する可能性があるとシステムが判定したときには、ディスプレイの点滅表示やブザーにより注意を促します。



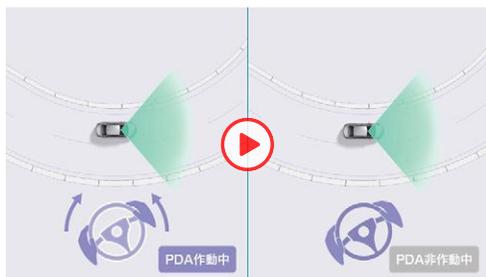
歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する支援〔減速・操舵制御〕



先行車・カーブに対する減速支援



右左折時減速支援



車線内走行時常時操舵支援

安全運転をさりげなくサポート。

▶プロアクティブドライビングアシスト〔PDA〕

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。

■歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

■先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

■カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。

■右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFF、ウインカー操作に応じてあらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕を確保します。

■車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリングの反力を変化させることで、不要な操作の抑制や、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。

■ PDA: Proactive Driving Assist

ついていくをサポート。

▶レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)



■先行車追従機能

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。

■車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。 ■設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。 ■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。 ■高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

先行車との間にちょうどいい距離が設定できる。

■4段階の車間距離設定

先行車との車間距離設定を4段階とし、より感覚にあった車間距離を実現します。



高速域での走行中も、スムーズな車線変更をサポート。

■車線変更時の補助

レーダークルーズコントロール使用中にウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施し、スムーズな追い越しや車線変更を行います。



高速道路の渋滞走行時など、運転負荷を大幅に軽減。

■先々行車検知

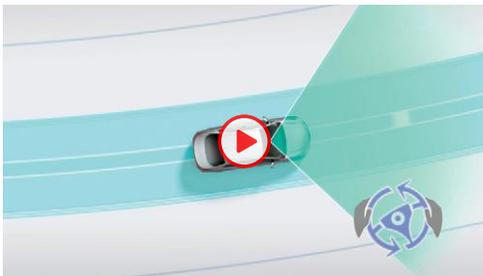
ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより、前方認識範囲を拡大。停止・発進を繰り返すシーンで、先行車や先々行車の認識、進路判定、割り込み車などに対して、優れた認識性能を確保しています。



カーブを検知し、スムーズに曲がれるように減速。

■カーブ速度抑制機能

レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると必要に応じて速度抑制を実施。より遠方のカーブまで検知して早期に減速を行います。



高速道路のクルージングをサポート。

▶レーントレーシングアシスト [LTA]

車線の中央を走行するために必要なステアリング操作の一部を支援します。

■車線維持支援機能

車線が見えにくい、または見えない場合も、先行車を追従してステアリング操作を支援します。カーブ走行性能の向上により、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を変化させる制御を追加。例えば隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。

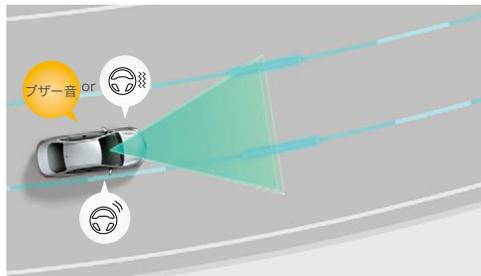


高速道路の車線変更をサポート。

▶レーンチェンジアシスト [LCA]

高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行中、レーントレーシングアシスト [LTA] が作動中にドライバーのウインカー操作を支援開始の合図として、レーンチェンジのための操舵、車線変更先車両監視の支援を行います。また、レーンチェンジ終了後に方向指示灯が自動消灯します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]



はみ出さないをサポート。

▶レーンディパーチャーアラート [LDA]

車線をはみ出しそうな時は、ディスプレイ表示およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告。ステアリング操作も支援します。

■車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能

車線だけでなく、アスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は、車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。また、ブラインドスポットモニター [BSM] 装着車は方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能が作動し、音声でお知らせします。

レーンディパーチャーアラート [LDA]、レーントレーシングアシスト [LTA]、レーンチェンジアシスト [LCA] の留意事項

■レーンディパーチャーアラート [LDA]、レーントレーシングアシスト [LTA]、レーンチェンジアシスト [LCA] は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。■故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。■安全性の観点から、ドライバーはステアリングを継続する必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト [LTA]、レーンチェンジアシスト [LCA] が停止します。■例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート [LDA]、レーントレーシングアシスト [LTA]、レーンチェンジアシスト [LCA] が正常に作動しないおそれがあります。●車線または走路の認識が困難なシーン（悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など）●タイヤに変化がある時（応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など）■例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート [LDA]、レーントレーシングアシスト [LTA]、レーンチェンジアシスト [LCA] の作動をキャンセルする場合があります。●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時（ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など）など ■レーンディパーチャーアラート [LDA] は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト [LTA] 支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。■レーンチェンジアシスト [LCA] は約70km/h～約130km/hで作動します。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。■レーンチェンジアシスト [LCA] はナビゲーションにて自動車専用道路と認識していない場合には作動しません。■レーンチェンジアシスト [LCA] は地図情報をもとに作動します。ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）でT-Connect・コネクティッドナビの契約が切れている場合、地図情報が利用できなくなるので、レーンチェンジアシスト [LCA] は作動しません。継続的に利用するには、T-Connect・コネクティッドナビの契約更新が必要です。ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、T-Connect・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、レーンチェンジアシスト [LCA] の継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを通信せず、常に周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。■作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート [LDA] が作動しない、または安定して作動しない場合があります。●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ■レーントレーシングアシスト [LTA] が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。■例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず、レーンチェンジアシスト [LCA] が作動しません。●ステアリング手放し警告をしている場合 ■例えば次のような条件下では、レーンチェンジアシスト [LCA] が正常に作動しない場合があります。●周辺車両が接近している時 ●周辺車両が大型車（トラック、バス、トレーラーなど）、二輪車などの場合 ●速度差が大きい追い越し、追い越され時 など ■例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンチェンジ中であってもレーンチェンジアシスト [LCA] の作動をキャンセルする場合があります。●周辺車両が接近している時 ●ステアリング手放し警告をしている場合 など

■イラストは作動イメージです。■イラストのカメラ・レーダーの検知範囲はイメージです。■装備類の詳細な設定は、P48-49の主要装備一覧表をご覧ください。



救命・救護をサポート。

▶ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト [LTA] 制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、またはアドバンスドドライブ（渋滞時支援）使用中にドライバー異常を検知した場合、音と表示と減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザード・ホーン・ストップランプで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット^{※1}自動接続^{※1}による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

※1.T-Connect契約が必要です。初度登録日より5年間無料（6年目以降有料）です。■ヘルプネット^{※1}はT-Connectに含まれるサービスです。T-Connectのご利用には別途契約が必要となります。■ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路（一部を除く）を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。■アドバンスドドライブ（渋滞時支援）使用中は50km/h以下で走行している場合であっても、ドライバー異常時対応システムが作動します。■ヘルプネット^{※1}は株式会社 日本緊急通報サービスの登録商標です。



夜間の見やすさをサポート。

▶アダプティブハイビームシステム [AHS]

ハイビーム用LEDの点灯を細やかに制御し、先行車や対向車に光が当たる部分を自動的に遮光することで、ハイビーム点灯での走行頻度を増やします。先行車がいも路肩をハイビームの一部で点灯することができず。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

■AHS: Adaptive High-beam System ■自車速度約15km/h以上で作動します。■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、作動しない場合やご利用にならない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。



▶オートマチックハイビーム [AHB]

ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などの早期発見をサポート。切り替え忘れを防ぐほか、手動操作の煩わしさも軽減します。

[CROSSOVER G、CROSSOVER XIに標準装備]

■AHB: Automatic High Beam ■自車速度約30km/h以上で作動します。■ハイビーム・ロービームの切替自動制御には、状況により限界があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心掛けてください。■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。

⚠ Toyota Safety Senseを安全にお使いいただく上での注意事項説明

Toyota Safety Senseは予防安全パッケージです。ご契約に際し、Toyota Safety Senseおよびその各システムを安全にお使いいただくための注意事項についてご説明いたします。(ご使用になる際のお客さまへのお願い) ■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。 ■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすることを思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。 ■ご使用前には、あらかじめ取扱書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。 ■お客様ご自身でアプリケーションセーフティの動作テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

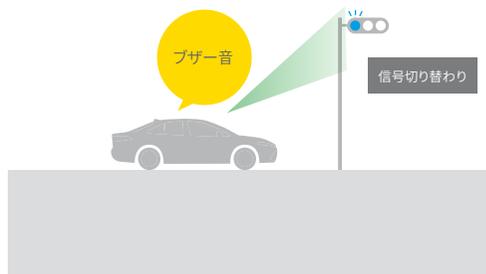
■ソフトウェアアップデート

Toyota Safety Sense、アドバンスドドライブの一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、販売店に入庫することなく最新のソフトウェアに更新できます。

※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。 ※お客様の安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客様の更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。変更・追加された内容は、toyota.jp内の取扱書ページにある最新の取扱説明書で確認することができます。 ※無線通信によるソフトウェアアップデートはT-Connect契約が必要です。



先行車発進告知



信号切り替わり告知

先行車発進時や信号切り替わり時のうっかり出遅れ防止をサポート。

▶発進遅れ告知機能[TMN]

交差点で信号が赤から青に変わった時や、先行車発進時の「うっかり出遅れ」をブザー＆マルチインフォメーションディスプレイ表示でお知らせします。

■信号切り替わり時の出遅れにも対応

先行車の発進をお知らせする従来の機能に加え、信号が赤から青に変わったときの「うっかり出遅れ」も表示とブザーでお知らせします。

■TMN: Traffic Movement Notification ■右折矢印信号も検知可能です。 ■シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。 ■先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままでシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくは取扱書をご覧ください。

■イラストは作動イメージです。 ■イラストのカメラ・レーダーの検知範囲はイメージです。 ■装備類の詳細な設定は、P48-49の主要装備一覧表をご覧ください。



パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)



パーキングサポートブレーキ(周囲静止物)



パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)



パーキングサポートブレーキ(後方歩行者)

車両周囲の静止物を検知して、衝突被害の軽減に寄与。

▶パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)

▶パーキングサポートブレーキ(周囲静止物)

アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステムです。アドバンスドパーク装着車では、静止物の検知対象を前後進行方向のみならず、側方を加えた車両周囲にまで拡大。アドバンスドパークのアシスト中だけでなく、出庫や後退中のような駐車シーンにおいても周囲を監視しながら静止物の接近を表示とブザーで知らせ、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。

[パーキングサポートブレーキ(周囲静止物): CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

後方から接近する車両や歩行者を検知し、衝突被害の軽減に寄与。

▶パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)

▶パーキングサポートブレーキ(後方歩行者)

駐車場から後退する際に、パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)は自車の左右後方から接近してくる車両をレーダーで検知。ドアミラー内のインジケータ点滅とブザーによりドライバーに注意を喚起します。また、パーキングサポートブレーキ(後方歩行者)は自車後方の歩行者をカメラで検知。ディスプレイオーディオ画面内のアイコン点滅とブザーによりドライバーに注意を喚起します。衝突の危険性がある場合は、自動的にブレーキ制御を行うことで接近車両や歩行者との衝突被害軽減を支援します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

■パーキングサポートブレーキ(周囲静止物)には、パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の検知エリアを含みます。 ■パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)のレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと合わせてご使用ください。(パーキングサポートブレーキを安全にお使いいただく上での注意事項) ■パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありませんが、必ず止まることを約束するものではありません。道路状況、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。 ■安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。 ■ソナーおよびレーダー、カメラの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。 ■運転者自身でパーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはおやめください。 ■パーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキが作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。 ■パーキングサポートブレーキ(後方歩行者)は、歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。



インジケータ部

拡大イメージ

車線変更時の危険をお知らせ。

▶ブラインドスポットモニター[BSM]

走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約70m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケータが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケータが点滅するとともにブザーが鳴り、より注意を喚起します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]



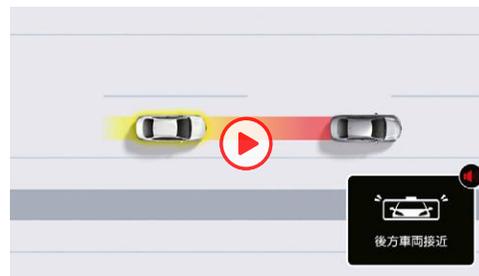
停車・ドアオープン時

降車時の危険をお知らせ。

▶安心降車アシスト[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケータを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合は、ブザー、ドアミラー内のインジケータの点滅、メーターの表示、音声通知で乗員に告知します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]



後方車両の接近をお知らせ。

▶後方車両接近告知

ブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーで自車後方の車両を検知し、後方車両が接近した場合には、マルチインフォメーションディスプレイ表示や、ブザーにてお知らせ。インナーミラーへ視線誘導し、後方車両の回避要否の判断をアシストします。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]



至近距離の後方車両がいる場合 つながる安心でサポート。

▶周辺車両接近時サポート

(録画機能・通報提案機能)

後方車両が非常に接近した場合、マルチインフォメーションディスプレイ表示と音声通知で警察もしくはヘルプネット[®]*1への接続を提案。接続後、対処方法をお伝えします。また、ドライブレコーダー(前後方)装着時には、イベント記録を実施します。状況を自動録画し、専用領域へ保存するので上書きされにくくなります。

[周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能): CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備]

[周辺車両接近時サポート(通報提案機能): CROSSOVER Xにメーカーオプション]



追突の可能性を後続車に注意喚起。

▶後方車両への接近警報

後方車両から追突される可能性が高い場合、ハザードランプを高速点滅させて後方車両に注意喚起します。それにより、追突事故の被害軽減に貢献します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

被追突時の2次衝突被害の回避・軽減に貢献。

▶セカンダリーコリジョンブレーキ(停車中後突対応)

自車が停車中、追突される可能性が非常に高い場合、自車のブレーキを作動させることで、その後追突された場合に自車両を減速し、2次衝突被害の回避・軽減に貢献します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

■BSM:Blind Spot Monitor ■SEA:Safe Exit Assist ■検知対象の目安となる大きさは、ブラインドスポットモニターは小型の二輪車よりも大きな車両となり、安心降車アシストは自転車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケータが点灯する場合があります。 ■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用にならない場合があります。 ■ブラインドスポットモニター、安心降車アシスト、後方車両接近告知、周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)、後方車両への接近警報、セカンダリーコリジョンブレーキ(停車中後突対応)はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。



作動イメージ

カメラ洗浄イメージ

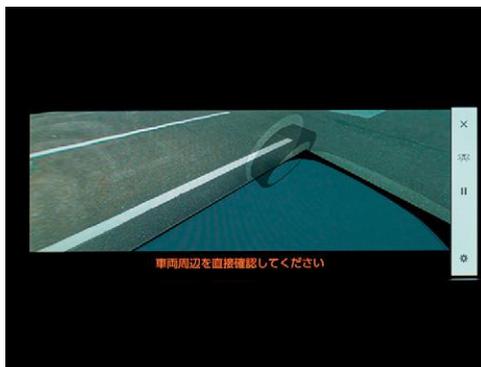
クルマを真上から見るように周囲を確認。

▶パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)

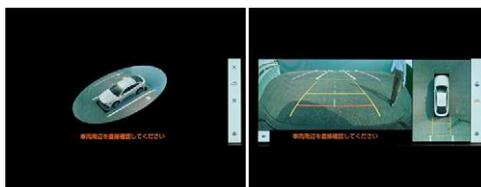
車両を上から見たような映像をディスプレイオーディオ画面に表示。運転席からの目視だけでは見にくい、車両周辺の状況をリアルタイムでしっかり確認できます。さらにクルマを透かして外を見るような映像で周辺を確認できるシースルービューや、車両を後ろ上方から見たような映像を表示し、車両側方の安全確認ができるサイドクリアランスビュー、狭い道での接触回避を確認できるコーナリングビューも採用。パノラミックビューモニター表示中に車両周辺の移動物を検知すると、ブザーと表示により、ドライバーに注意を喚起します。また、クリアな視界を保つため、バックカメラには洗浄機能が付いています。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

Photo: CROSSOVER G (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスシルバー(1J6)はメーカーオプション。 ■写真は合成です。 ■写真はイメージです。 ■画面はハメ込み合成です。 ■カメラが映し出す範囲は限られており、実際より遠く見える場合があります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。 ■字光式ナンバープレートは装着できません。 ■ユーザー操作によりウォッシャーが作動し汚れを落とします。



シースルービュー [Pポジション時]



ムービングビュー [Pポジション時] ワイドバックビュー



パノラミックビュー&ワイドフロントビュー

パノラミックビュー&バックビュー

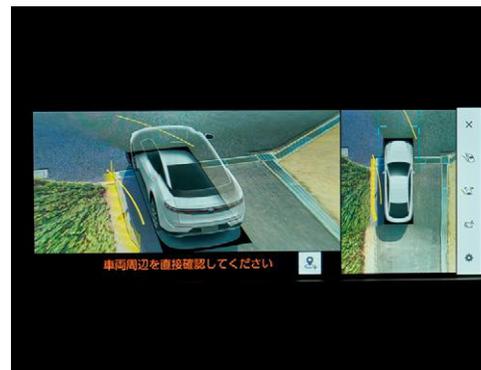
■シースルービュー

ボディやシートなどを透かして見たような透過表示により、車内から見た映像を表示。大きい画像で、目視できないエリアの周辺確認をサポートします。また、画面スイッチをタッチすることで、見たい箇所でも静止可能。車両の周りを一周表示するムービングビューと画面スイッチで切り替えられます。



■サイドクリアランスビュー

車両前側を後ろから見たような映像を表示。狭い道でのすれ違いや路肩への幅寄せ時に、車両側方の安全確認をサポートします。



■コーナリングビュー

サイドクリアランスビュー表示中に、旋回時の運転操作に合わせて自動で車両を斜め後方から見たような映像を表示。狭い道で右左折時の安全確認や、車道に出る時の縁石乗り上げ防止をサポートします。



■床下透過機能(アンダーフロアビュー)

パノラミックビュー/サイドクリアランスビュー/コーナリングビュー表示中に、床下透過映像表示機能がONになっていれば車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して駐車やすり抜けをサポートします。



■自動表示する地点の登録機能

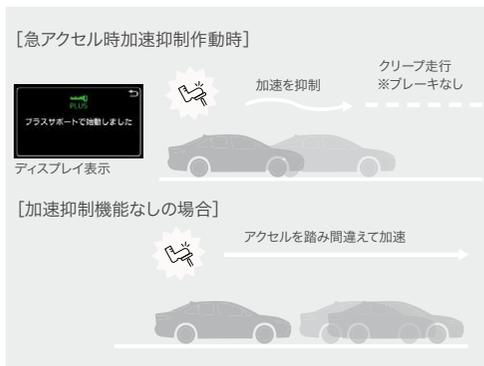
あらかじめ地点登録することで、その地点付近に到達した際、自動的にパノラミックビュー&ワイドフロントビューもしくはパノラミックビュー&サイドクリアランスビューを表示させることができます。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

※GPSの受信状況によっては地点登録できない、または自動的に表示できない場合があります。

■音声操作対応

メインスイッチを押ししたり、画面上のスイッチを選択したりする代わりに、音声操作システムを使ってパノラミックビューを表示させることができます。



障害物がないシーンでも、
ペダル踏み間違い時に加速を抑制。

▶プラスサポート(急アクセル時加速抑制)

[全車に販売店装着オプション]



トヨタ純正用品(販売店装着オプション)
トヨタ自動車(株)の取り扱い商品です。

■詳しくはACCESSORIES & AUDIO VISUAL & CUSTOMIZE
CATALOGUEをご覧ください。



パーキングブレーキの作動と解除が簡単に。

▶電動パーキングブレーキ&ブレーキホールド

■【電動パーキングブレーキ】

シフトレバーを「P」ポジションに入ると自動で作動し、
ブレーキを踏みながら「D」ポジションなど「P」ポジション
以外にシフトすると解除されるオート機能付です。オート
機能はOFFにすることも可能です。

■【ブレーキホールド】

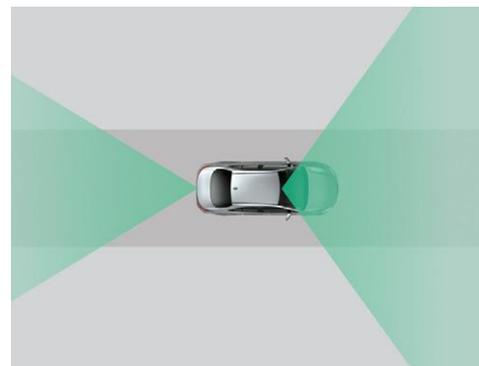
「HOLD」スイッチを押し、システムONの状態にしておくこ
とで、渋滞や信号待ちなどでブレーキを踏んで停車した
時にブレーキを保持。アクセルを踏むと解除されます。



シフト操作を間違えた時や後退時に、
速度を抑制して被害軽減に寄与。

▶ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時
の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌
てたドライバーが、アクセルを踏み込んだままシフトを
「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、ハイブ
リッドシステム出力を抑制。また後退時、必要以上にアク
セルを踏み込んで速度が上がりすぎるのを防ぐために、
ハイブリッドシステム出力を抑えます。



録画範囲イメージ

もしもの時のトラブル回避をサポート。

▶ドライブレコーダー(前後方)

車載カメラの映像を内蔵メモリに録画。別のカメラを後
付けすることなく前後映像を記録できます。常時録画だ
けでなくエアバッグ作動時の自動録画や音声認識によ
る手動録画等、クルマと連携した便利な録画トリガーを
採用しました。録画した映像はディスプレイオーディオ
の大画面ですぐに再生。USBメモリへの転送やWi-Fi®
経由でスマートフォンへ転送し再生することも可能で
す*1。録画した映像は録画地点を地図上に表示するこ
ともできるので、場所から簡単に再生したい映像を見つ
けられます*2。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに
標準装備]

*1. スマートフォンへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive
Recorder Viewer」のインストールが必要。 *2. 録画映像の地図表
示は車載ナビ装着車またはコネクティッドナビ利用時に使用できます。
■ドライブレコーダー(前後方)は事故の検証に役立つことを目的の一
つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
■映像が録画されなかった場合や録画されたファイルが破損していた
場合による損害、故障や使用によって生じた損害については、弊社は一
切責任を負いません。 ■録画した映像は、その使用目的や使用方法に
よっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります
のでご注意ください。また、イタズラなどの目的では使用しないでくださ
い。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。 ■詳細に
ついては取扱説明書をご覧ください。 ■機能 画角(水平):前方108°
/後方62° 録画画素数:前方200万画素(上下に黒帯が記録されるため、
実映像は約180万画素となります。)/後方200万画素(上下に黒帯が記
録されるため、実映像は約130万画素となります。) ■画像のカメラ範
囲はイメージです。 ■Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。



衝突時の被害を軽減するために。

▶SRSエアバッグシステム(運転席・助手席エアバッグ +運転席二エアバッグ+前席サイドエアバッグ+前 後席カーテンシールドエアバッグ)

乗員を覆うように広がり衝撃を緩和します。

■SRS: Supplemental Restraint System(乗員保護補助装置)
■SRSエアバッグは、あくまでシートベルトを補助する装置です。必ず
シートベルトをご着用ください。 ■すべてのSRSエアバッグは、衝突の
条件によっては作動しない場合があります。 ■SRSサイドエアバッグ、
SRSカーテンシールドエアバッグは側面衝突時には衝突側のみ膨らみ
ます。 ■チャイルドシートなどを助手席に装着する時は、後ろ向きにし
ない、前席にはクラウン専用の純正シートカバー以外は取り付けないな
ど、ご注意ください。 ■必ず取扱書をご覧ください。



歩行者への衝撃を緩和。

▶ポップアップフード(予防連携機能付)

歩行者との万一の衝突時、フード後方を瞬時に持ち上
げフード下の空間を広げることで、歩行者の頭部への
衝撃を緩和します。また、プリクラッシュセーフティが歩
行者や自転車運転者と衝突する可能性が高いと判断し
た場合、ポップアップフード作動の準備を行う予防連携
機能も備えています。

■衝突の条件によっては作動しない場合があります。必ず取扱書をご覧
ください。



ITS Connectについて
詳しくは動画を
ご覧ください▶



ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート。

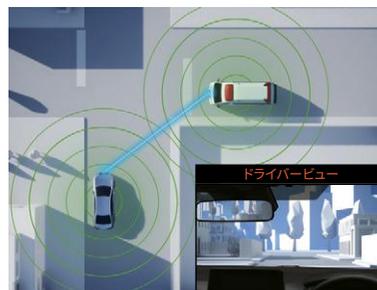
▶ITS*1 Connect

クルマに搭載したセンサーでは捉えきれない見通し外のクルマや人の存在、信号情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*2とクルマが直接通信して取得し、マルチインフォメーションディスプレイ表示やブザー音でドライバーに知らせることで安全運転を支援します。

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

*1. ITS: Intelligent Transport Systems *2. 路車間通信システムに対応した路側装置は、宮城県・茨城県・埼玉県・東京都・神奈川県・愛知県・大阪府・広島県・福岡県に設置されています(2024年4月現在)。詳しくは(<https://toyota.jp/technology/safety/itsconnect/>)をご確認ください。 [システム全般]本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。あくまでも補助機能です。システムを過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。 [緊急車両存在通知] 通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。 [通信利用型レーダークルーズコントロール] 先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。 [右折時注意喚起(路車間通信システム)] 路側装置が設置された交差点であっても、路側装置(感知器)の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。以下のような場合、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。 ●対向車や歩行者が路側装置(感知器)の検出範囲外に存在している場合。 ●路側装置(感知器)が、車両の特徴や環境条件、経年変化等によって、車両の未検知や誤検知を起こす場合。

クルマとクルマがつながる 車車間通信システム



緊急車両存在通知



■緊急車両存在通知



■出会い頭注意喚起



■通信利用型レーダークルーズコントロール



■右折時注意喚起

1 緊急車両存在通知

サイレンを鳴らしている緊急車両(救急車)が存在する場合に、ブザー音と音声案内で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。

2 出会い頭注意喚起

交差点で一旦停止時、クルマ同士の直接通信で左右から接近する死角の車両を検知。接近している車両がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に交差点に進入できるよう支援します。

※ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus装着車に設定。

3 通信利用型レーダークルーズコントロール

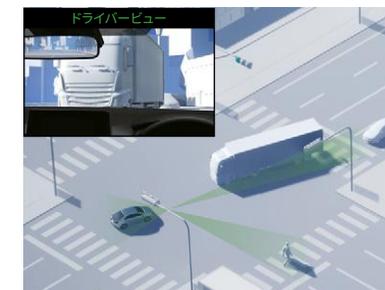
レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報にすばやく反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

4 右折時注意喚起

交差点右折時、クルマ同士の直接通信で死角の対向車を検知。接近している対向車がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

※ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus装着車に設定。

道路*2とクルマがつながる 路車間通信システム



右折時注意喚起



■右折時注意喚起



■赤信号注意喚起



■信号待ち発進準備案内

5 右折時注意喚起

交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

6 赤信号注意喚起

道路側の路側装置より信号(色)情報を取得。赤信号交差点に近づいてもアクセルペダルを踏み続け、ドライバーが赤信号を見落としている可能性がある場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に停止できるよう支援します。

7 信号待ち発進準備案内

赤信号で停車した時、赤信号の待ち時間の目安を表示します。バー表示がグレーになった後、まもなく信号が変わります。

CONNECTED

コネクティッド

クルマとつながる。未来とつながる。

クルマと情報がつながると、まだなかった安心・安全・快適が生まれる。

それは人をさりげなくスマートに変える、未来のはじまり。



Photo: CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×プレシャスメタル(1L5) [2ZA] はメーカーオプション。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。リヤサポートパッケージはメーカーパッケージオプション。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■画面はハメ込み合成です。 ■T-Connectのご利用には、T-Connectの契約が必要です。また、専用通信機(DCM)が正常にデータ通信・音声通話できる場合にご利用いただけます。基本利用料は初度登録日から5年間無料となります<6年目以降は330円(消費税抜き300円)/月>。



12.3インチHDディスプレイ通信型ナビ対応に
車載ナビ機能をプラス。

▶ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus
12.3インチの鮮明な地図と高コントラストの美しい映像がご覧いただけます。センター通信型コネクティッドナビの対応に加え、通信が途切れて万一保持する地図情報の外に出してしまった場合でも、続けてナビ機能が利用できる車載ナビ機能も搭載しています。^{*1}
[CROSSOVER RS、CROSSOVER Zに標準装備]

対応T-Connectサービスプラン

T-Connectスタンダード(22)



センター通信型コネクティッドナビ対応

12.3インチ高精細ディスプレイオーディオ。

▶ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)

トヨタスマートセンターの新しい情報を活用した通信型コネクティッドナビに対応^{*1}。12.3インチ高精細HDディスプレイが鮮明な地図描画と美しい映像を映し出します。
[CROSSOVER Gに標準装備。CROSSOVER Xにメーカーオプション]

対応T-Connectサービスプラン

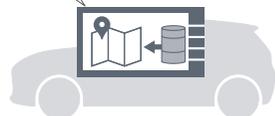
T-Connectスタンダード(22)

コネクティッドナビ



通信を使って
トヨタスマートセンター内の
最新データを活用する
センター通信型ナビに対応。

これまでのカーナビ



・カーナビ本体に収録されている情報を活用した
地図表示とルート案内

トヨタスマートセンターの新しい情報を

活用する通信型ナビが

5年間無料(6年目以降有料)^{*2}で
ご利用いただけます。

▶コネクティッドナビ^{*1}

T-Connectスタンダード(22) 有料オプション

T-Connectの契約でセンター通信型のナビゲーション「コネクティッドナビ」が5年間無料^{*2}でご利用いただけます。既に収録されているナビ情報を活用するこれまでのカーナビとは異なり、通信によってセンターから取得する新しい情報(地図・施設・交通情報)を活用した目的地検索・ルート設定が可能^{*3}です。また、オンラインによるリアルタイムかつ豊富な情報を活用することができます。例えば、飲食店検索では口コミ点数を検索結果の一覧や地図上に表示、施設情報ではその店の営業時間や定休日を確認することができます。また、駐車場検索では、駐車料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報をご提供します。

T-connect

・センターから取得する新しい道路と施設を
地図表示

・リアルタイムの交通情報や新しい施設情報
を活用したルート案内



DCM + ディスプレイオーディオ
(コネクティッドナビ対応)



T-Connectの一部サービスも

ご利用いただけます。^{*4}

▶ディスプレイオーディオレス

[CROSSOVER Xに標準装備]

対応T-Connectサービスプラン

T-Connectエントリー(22)



話しかけるだけでクルマが応えます。

▶エージェント

T-Connectスタンダード(22)

[コネクティッドナビ^{*2}とセット]

スイッチ操作は不要、あなたの声でクルマが応えます。「Hey, トヨタ」と話しかけるだけで、エージェントが起動して目的地検索や天気予報などの情報をご提供します。また、エアコンの温度調整や窓の開閉など、車両の操作も可能。声によるさまざまなご要望にエージェントがお応えします。

※一部機能は、T-Connectやコネクティッドナビ(車載ナビ有)/コネクティッドナビ契約の有無に関わらずご利用いただけます。

※「Hey, トヨタ」の起動ワードは、設定から変更することができます。



クルマがWi-Fiスポットになります。

▶車内Wi-Fi

T-Connectスタンダード(22) 有料オプション

クルマがWi-Fiスポットとなって、車内でデータ通信が可能になります。ご家族やお友達、同乗者のスマートフォンやタブレットを接続することで、データ通信を使用量無制限でお楽しみいただけます。さらにディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plusでは、大画面の車載ディスプレイでWebサイトの閲覧が可能です。

※Wi-Fi[®]接続機器は5台まで同時接続可能です。 ※直近3日間(当日は含まれません)で6GB以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。 ※車内Wi-FiとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時利用できません。

*1. 詳しくは、P37「コネクティッドナビご利用条件」をご覧ください。 *2. コネクティッドナビのご利用には、T-Connectスタンダード(22)の契約と、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plusはコネクティッドナビ(車載ナビ有)の契約、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)はコネクティッドナビの契約が必要となります。初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。 *3. コネクティッドナビは、専用通信機(DCM)が正常に通信できる環境の場合にご利用いただけます。 *4. ご利用にはT-Connectエントリー(22)の契約が必要となります。初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。 ■画面はハメ込み合成です。 ■Wi-Fi[®]は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。 ■T-Connectサービスの詳しい設定は、P40「サービス主要機能一覧」をご覧ください。 ■有料オプションの詳しい設定は、P40「サービスご利用料金」をご覧ください。 ■装備類の詳しい設定は、P48-49の主要装備一覧表をご覧ください。

■ ディスプレイオーディオ基本機能

● 標準機能 ▲ 有料オプション ▲ 販売店装着オプション — 設定なし

	ナビゲーション		オーディオ&ビジュアル					スマートフォン連携		
	コネクティッドナビ*1	車載ナビ	AM/FMチューナー(ワイドFM対応)	フルセグTV視聴	Bluetooth®(ハンズフリー・オーディオ)	USB入力(動画・音楽再生/給電)	HDMI入力*3	Apple CarPlay対応(ワイヤレス対応)	Android Auto™対応	Miracast®対応*4
ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus	▲ 5年間無料*2	●	●	●	●	●	▲	●	●	●
ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)	▲ 5年間無料*2	—	●	●	●	●	▲	●	●	●

■ コネクティッドナビご利用条件

	初度登録日～5年間	6年目以降～
		コネクティッドナビ*1を無料*2でご利用いただけます。
ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus	 <p>トヨタスマートセンター コネクティッドナビ対応 + 車載ナビ機能</p> <p>DCM+ディスプレイオーディオ</p> <p><通信圏外エリアや通信障害時等の場合> 車載ナビを使ったナビ機能を利用します。</p>	コネクティッドナビ(車載ナビ有)/コネクティッドナビの契約なし
ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)	 <p>トヨタスマートセンター コネクティッドナビ対応</p> <p>DCM+ディスプレイオーディオ</p> <p><通信圏外エリアや通信障害時等の場合> ナビ機能が使用できない場合があります。特に通信圏外エリアではルート検索などができなくなります。但し現在地周辺、ルート沿いの地図データを一時的に保持していますので、通信圏外で直ちに使用不可とはなりません。</p>	<p>カーナビは利用できません。*5</p> 

*1. コネクティッドナビのご利用には、T-Connectスタンダード(22)の契約と、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plusはコネクティッドナビ(車載ナビ有)の契約、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)はコネクティッドナビの契約が必要となります。 *2. 初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。 *3. 機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。 *4. Androidスマートフォン/タブレットが対象です。対応する機種は限られます。動作確認済み機種は、(<https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html>)でご確認ください。ただし、本機での動作を保証するものではありません。 *5. スマートフォン連携機能によるスマートフォンの地図(ナビ)アプリ利用は可能です。

■Apple CarPlayは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。 ■iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。 ■Android Auto™は、Google LLCの商標です。 ■Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■Wi-Fi®、Miracast®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。 ■HDMIおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の登録商標です。



Apple CarPlay*6*7
対応スマートフォン:iPhone



スマートフォン連携について詳しくはこちら



Android Auto™*7*8
対応スマートフォン:
Android

ディスプレイ上でスマートフォンのアプリがご利用いただけます。

▶スマートフォン連携

(Apple CarPlay*6 / Android Auto™*8)

スマートフォンをUSBケーブルで接続*7 (Apple CarPlayはワイヤレスにも対応*9)するとディスプレイに操作可能なスマートフォンアプリが表示されます。音楽やマップ、電話やメッセージなど、使い慣れたスマートフォンアプリを大画面のディスプレイで操作、ご利用いただけます。

*6. Apple CarPlayをサポートする機種および対応アプリ、接続設定につきましては、(<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>)でご確認ください。本機での動作を保証しているわけではありません。

*7. スマートフォンの接続には、データ通信可能なUSBケーブルが別途必要となります。また、一部ケーブルには対応できないものがあります。

*8. Android Auto™をサポートする機種および対応アプリ、接続設定につきましては、(<https://www.android.com/auto/>)でご確認ください。本機での動作を保証しているわけではありません。

*9. Apple CarPlayのワイヤレス接続と車内Wi-Fiとは併用できません。車内Wi-Fiをお使いの場合は、Apple CarPlayをケーブル接続にてご利用ください。



スマートフォンがクルマとつながる。T-Connect*1がカーライフに新たな快適をお届けします。

T-connect



スマートフォンがクルマといつでもつながる。

▶T-Connect スマートフォン連携

クルマがセンターとつながり、安心・安全・快適なカーライフをご提供するT-Connect。クルマのご利用はもちろん、離れた場所からスマートフォンを使ってクルマの状態を確認、操作できるリモートサービスに加え、新たなコネクティッドサービスでもっと快適なカーライフをお届けします。



My TOYOTA+アプリ *2*3

専用スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」を使ってT-Connect*3のサービスがご利用いただけます。

▶My TOYOTA+

T-Connect スタンダード(22) T-Connect エントリー(22)

クルマの近くにいないくても、スマートフォンから簡単にクルマの状態や走行データを確認。クルマの施錠確認やエアコン操作も可能です。さらにドアのこじ開けなど異常をお知らせ。離れた場所から大切なクルマを守ります。



My TOYOTA+



<インストール>

<利用条件>

- T-Connect契約
- 「TOYOTAアカウント」取得

クルマの健康状態を確認できます。

▶eケア(ヘルスチェックレポート)

T-Connect スタンダード(22) T-Connect エントリー(22)

おでかけ前にエンジンオイル量やスマートキーの電池残量などを「My TOYOTA+」で確認することができます。

日々のドライブの記録を確認できます。

▶マイカーログ

T-Connect スタンダード(22) T-Connect エントリー(22)

ドライブで走った距離や燃費などのトリップ情報を「My TOYOTA+」で確認することができます。

スマートフォンで離れた場所からクルマの状況がわかります。

▶マイカーサーチ

T-Connect スタンダード(22) T-Connect エントリー(22)

ドアロックの施錠忘れやハザードランプの消し忘れなど、離れた場所から「My TOYOTA+」で確認、操作が可能です。また、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動やクルマの始動を検知すると「My TOYOTA+」やメール*4にすみやかにお知らせします。



リモート確認/ リモート操作

ドアロックやウィンドウの開閉、ハザードランプ点灯状態などを「My TOYOTA+」から確認できます。また、状況に応じてドアロックやハザードランプの消灯を操作できます。



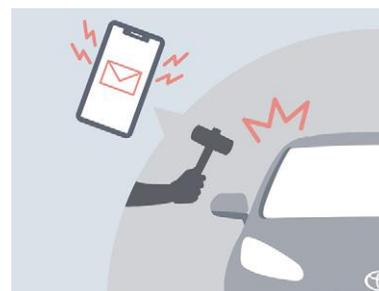
カーファインダー

クルマの駐車位置を「My TOYOTA+」の表示で確認できます。さらにハザードランプを点滅させることもできます。



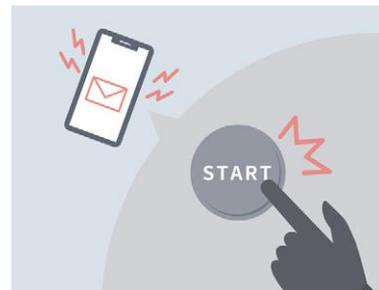
うっかり通知

ドアロックやウィンドウの閉め忘れ、ハザードランプの消し忘れなど、操作忘れを検知すると「My TOYOTA+」やメール*4にお知らせします。



アラーム通知

ドアのこじ開けなどによるオートアラーム作動を検知すると「My TOYOTA+」やメール*4にお知らせします。



マイカー始動通知

クルマの異常な始動を検知すると「My TOYOTA+」やメール*4にお知らせします。



乗り込む前に車内を快適温度にします。

▶リモートスタート(アプリ)*5*6*7*8

T-Connect スタンダード(22)

T-Connect エントリー(22) 有料オプション

「My TOYOTA+」の操作で、離れた場所からエアコンを操作。夏も冬も快適な温度で乗車できることに加えて、凍結したガラスの霜取りも行えます。

※販売店装着オプションのリモートスタートを装着している場合はご利用いただけません。

*1. T-Connectのご利用には、T-Connectスタンダード(22)またはT-Connectエントリー(22)の契約と「TOYOTAアカウント」の取得が必要となります。また初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。*2. スマートフォンアプリ「My TOYOTA+」のインストールが必要です。*3. ご利用には、T-Connectスタンダード(22)またはT-Connectエントリー(22)の契約と「TOYOTAアカウント」の取得が必要となります。また初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。*4. 事前にサポートアドレス(メールアドレス)の登録が必要です。*5. 一般公道上や閉め切った場所での使用はおやめください。*6. 起動後、一定の時間が経つと自動的に停止します。*7. 車両停止中にエンジンをみだりに稼働させた場合、条例により、罰則を受けることがありますのでご注意ください。(ご購入の際は地方自治体の条例などをご確認ください。)*8. 使用時には周囲の安全を十分に確認の上ご使用ください。



デジタルキーアプリ

あなたのスマートフォンが
クルマのキーになります。

▶デジタルキー*1*2

T-Connectスタンダード(22) 有料オプション

スマートフォンに専用アプリ「デジタルキー」をインストールすることで、スマートフォンをクルマのキーとして使用できます。*3アプリの画面を操作してロック/アンロックが可能になることに加え、アプリを起動したスマートフォンを携帯していれば、画面操作なしでロック/アンロック・クルマの始動をすることも可能です。*4

[CROSSOVER RS、CROSSOVER Z、CROSSOVER Gにメーカーオプション]

※ご利用には、新車ご注文時にデジタルキー(メーカーオプション)のご購入が必要となります。 ※デジタルキーが利用できない状況に備えて、常にクルマのキーも携帯いただくことを推奨いたします。



デジタルキー



<インストール>

<利用条件>

- T-Connect契約
- 「TOYOTAアカウント」取得
- 「デジタルキー」の装備
- オプションサービス「デジタルキー」の契約(初度登録日から3年間無料、4年目以降有料)
- スマートフォンアプリ「デジタルキー」をインストール



※デジタルキー対応のスマートフォンは限られます。動作確認済みスマートフォンはこちらからご確認いただけます。



スマートキーなどでドライバーを認識、
登録した設定に切り替えます。

▶マイセッティング*5

T-Connectスタンダード(22)

ご家族でクルマをシェアする時など、個々のよく使うオーディオやナビの地図表示など運転する方のお好みの車両設定を記録。乗車の際、事前に登録したスマートキーやスマートフォン*6で運転者を認識し、ドライバーそれぞれの最適な車内環境に自動で設定します。



24時間365日、

いつでも専任のオペレーターが対応します。

▶オペレーターサービス*7

T-Connectスタンダード(22) 有料オプション

行きたい場所や知りたい情報を伝えるだけで、オペレーターがお客様に代わって検索し、ナビの目的地設定も行います。人ならではのきめ細かく柔軟な対応でご希望に沿ったサポート*8をいたします。

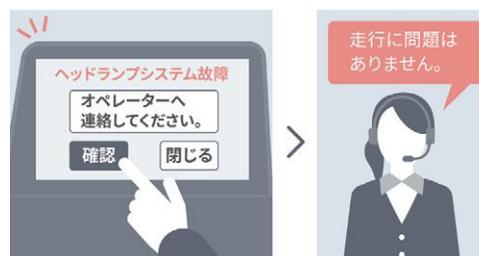


事故や急病時、
あおり運転で困った時でも安心です。

▶ヘルプネット®(エアバッグ連動タイプ)*9

T-Connectスタンダード(22) T-Connectエントリー(22)

急な体調不良時も、ヘルプネットボタンを押すだけでヘルプネットセンターのオペレーターにつながります。今いる場所がどこか分からなくても、車両位置情報に基づいて迅速に緊急車両を手配。さらに、あおり運転などのトラブルの時にも状況に応じて警察へ通報します。また、エアバッグ作動時には自動でオペレーターに接続。ドクターヘリ等の早期出勤判断*10を行うD-Call Net®にも対応しています。



※イメージです。

警告灯が出たら、すぐにアドバイスをお伝えします。

▶eケア(走行アドバイス)*11*12*13

T-Connectスタンダード(22) T-Connectエントリー(22)

警告灯が点灯した場合、ディスプレイ画面よりeケアコールセンターに接続が可能*14です。そのまま走行を続けられるか不安な状況に、車両情報をもとにeケアコールセンターが24時間365日、適切な対処方法をアドバイスいたします。また対応内容は、あらかじめ登録しているトヨタ販売店(リモートメンテナンス店)にも連携され、点検や修理などをご案内させていただく場合があります。*15

大事な予定に遅れないようにサポート。

▶スケジュール連携

スマートフォンアプリ「moviLink」*16を介して、普段お使いのスケジュールアプリ*17とクルマが連携。カレンダーにいつも通りに予定と場所を登録し、moviLinkを開くと、自動で予定の場所までの移動時間(おでかけプラン)を作成してくれます。出発時刻が近づいてくると、自動で道路の混雑状況を確認して最新の出発時刻を教えてください。機能や、おでかけプランを車載ナビと連携することで簡単に目的地を設定できる機能*18などをご用意。スムーズな移動をサポートします。

*1. ご利用にはT-Connect契約、「TOYOTAアカウント」の取得が必要です。また本機能のご利用には、新車ご注文時にメーカーオプションのデジタルキーをご購入の上、デジタルキーのオプションサービス<初度登録日から3年間無料、4年目以降有料>に加入が必要となります。
*2. デジタルキーのご利用にあたって、操作方法および注意事項につきましてはデジタルキーWebサイトをご確認ください。(https://toyota.jp/digital_key) *3. デジタルキーの操作は、スマートキーで動作するすべての機能には対応しておりません。 *4. 最大4台の車両のデジタルキーを1台のスマートフォンに登録可能(但しお使いの機種によっては車両に4台同時接続できない場合があります)。また1台の車両に対し、最大6本(オーナーキー1本、シェアキー5本)のデジタルキーが発行できます。 *5. 「My TOYOTA+」で初期設定が必要です。 *6. スマートフォンによるドライバー認識は、前回クルマに乗車したドライバーのスマートフォンが接続された時のみ自動で認識します。 *7. オペレーターサービスのご利用には、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plusはコネクティッドナビ(車載ナビ有)の契約、ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)はコネクティッドナビの契約が必要となります。コネクティッドナビは初度登録日から5年間無料(6年目以降有料)となります。 *8. ご期待に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。 *9. ご利用には手動保守点検が必要です。 *10. ドクターヘリは、必ず出勤するものではありません。 *11. サービスのご利用にはリモートメンテナンス店の登録が必要です。また、利用開始操作の翌日よりご利用いただけます。詳しくは、販売店におたずねください。 *12. 販売店でのご対応は営業時間内に限ります。 *13. 車両にOBD(On-Board Diagnostics) II通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。 *14. ディスプレイオーディオ装着車[T-Connectスタンダード(22)]に対応。ディスプレイオーディオレス車[T-Connectエントリー(22)]はMy TOYOTA+アプリからeケアコールセンターに接続いただけます。 *15. すべての警告灯点灯時に実施するものではありません。走行に支障が出る可能性が高いものに限ります。 *16. スマートフォンアプリ「moviLink」のインストールが必要です。スケジュール連携機能のご利用には、「TOYOTAアカウント」の取得が必要です。 *17. Googleカレンダー、iOSカレンダー、TimeTreeカレンダー、Outlookカレンダーが対象となります。 *18. 車載ナビのおでかけプラン連携のご利用にはT-Connectスタンダード(22)の契約とコネクティッドナビ(車載ナビ有)のオプションサービスに加入が必要となります(初度登録日から5年間無料。6年目以降有料)。また、「My TOYOTA+」でのドライバー登録が必要です。
■「moviLink」はトヨタ自動車(株)の登録商標です。
■ヘルプネット®は株式会社 日本緊急通報サービスの登録商標です。
■D-Call Net®は認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net)の登録商標です。

サービス主要機能一覧

●:設定 ×:設定なし

車両ディスプレイオーディオ設定	T-Connect		
	ディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応) Plus	ディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応)	ディスプレイオーディオレス
T-Connectサービスプラン*1	T-Connectスタンダード(22)	T-Connectスタンダード(22)	T-Connectエントリー(22)
ヘルプネット®(エアバッグ連動タイプ)	●	●	●
eケア(走行アドバイズ)	●	●	●*2
コネクティッドナビ*1	● 有料オプション	● コネクティッドナビ(車載ナビ有)*3	× コネクティッドナビ*4
エージェント<音声対話サービス(起動ワード対応)>	●	●	×
車内Wi-Fi	● 有料オプション	●	×
Webサイトの閲覧*5	●	×	×
デジタルキー*6<専用スマートフォンアプリ対応>	● 有料オプション	●	×
オペレーターサービス*7*8	●*9 有料オプション	●*9	×
スケジュール連携/ディスプレイオーディオとの連携	●	●	×
My TOYOTA+ <専用スマートフォンアプリ>	●	●	●
マイカーサーチ	リモート確認/リモート操作	●	●
	カーファインダー	●	●
	うっかり通知	●	●
	マイカー始動通知	●	●
	アラーム通知	●	●
eケア(ヘルスチェックレポート)	●	●	●
マイカーログ	●	●	●
リモートスタート(アプリ)*7	●*9 有料オプション	●*9	●
マイセッティング	●	●	×

*1. 初度登録日から5年間無料でご利用いただけます(6年目以降有料)。*2. My TOYOTA+ アプリからeケアコールセンターに接続いただけます。*3. ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus装着車は、コネクティッドナビ(車載ナビ有)の無料利用期間終了後に契約をされない場合でも車載ナビ機能をご利用いただけます。*4. ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)装着車は、コネクティッドナビの無料利用期間終了後に契約をされない場合、ナビゲーション機能がご利用いただけません。*5. ディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus搭載車種では、車載ディスプレイでWebサイトの閲覧表示が可能です。*6. 本機能のご利用には、新車ご注文時にメーカーオプションのデジタルキーをご購入の上、デジタルキーのオプションサービス<初度登録日から3年間無料(4年目以降有料)>に加入が必要となります。*7. リモートスタート(アプリ)、オペレーターサービスの月額プランは、納車後お申込みいただけます。*8. コネクティッドナビ(車載ナビ有)/コネクティッドナビご利用時のみ、お申込みいただけます。*9. 新車ご注文時限定のリモートスタート(アプリ)とオペレーターサービスをセットにした長期パックをご用意しています。

■Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
■ヘルプネット®は株式会社 日本緊急通報サービスの登録商標です。

サービスご利用料金 ※価格はすべて消費税を含む価格です。

新車登録

1年

2年

初回車検

3年

4年

2回目車検

5年

6年

T-Connect 基本サービス*1		T-Connectスタンダード(22)	T-Connectエントリー(22)
●コネクティッドナビ(車載ナビ有)*3/コネクティッドナビ*4 ※ディスプレイオーディオ装着車。		初度登録日から5年間 無料	
●デジタルキー*6		初度登録日から3年間 無料	
【新車ご注文時お申込み限定】 ●リモートスタート(アプリ)・オペレーターサービス 5年パック / 3年パック*8*9 ※ディスプレイオーディオ装着車。	5年パック	初度登録日から5年 30,250円/5年間	6年目以降 330円/月
	3年パック	初度登録日から3年 18,150円/3年間	6年目以降 880円/月
●リモートスタート(アプリ)*7	月額プラン	220円/月	4年目以降 550円/月
●オペレーターサービス*7*8 ※ディスプレイオーディオ装着車。	月額プラン	330円/月	オペレーターサービス 330円/月 リモートスタート(アプリ) 220円/月
●車内Wi-Fi*5	月額プラン	1,100円/月	

WIDE SELECTION

価格・グレード・カラー



Photo (前列の左から1台目、3~6台目) : CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーは左から順にブラック(227)×プレシャスホワイトパール(090) [2XW]、ブラック(227)×マッシュグレー(1L6) [2XY]、ブラック(227)×エモーションナルレッドII (3U5) [2YZ]、ブラック(227)×プレシャスメタル(1L5) [2ZA]、ブラック(227)×プレシャスシルバー(1J6) [2ZB]。 Photo (後列の7台と前列の左から2台目) : CROSSOVER G (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーは前列の左から2台目がブラック(227)×プレシャスブロンズ(4Y6) [2XZ]、後列の左から順にプレシャスホワイトパール(090)、プレシャスシルバー(1J6)、プレシャスメタル(1L5)、ブラック(202)、エモーションナルレッドII (3U5)、プレシャスブロンズ(4Y6)、マッシュグレー(1L6)。 ■ブラック(202)、マッシュグレー(1L6)を除くすべてのボディカラーはメーカーオプション。

CROSSOVER RS



ブラック/イエローブラウン



ブラック/サドルタン



フロマージュ



ブラック

ハイブリッド車	
E-Four Advanced	
メーカー希望小売価格 ^{*1} (消費税抜き)	6,700,000 円 (6,090,909 円)
北海道地区 メーカー希望小売価格 ^{*2} (消費税抜き)	6,709,900 円 (6,099,909 円)
全長	4,930mm
全幅	1,840mm
全高	1,540mm
燃費	WLTCモード: 15.7km/L
総排気量	2.393L

Photo (スタイリング): CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(22T)×マッシュグレー(1L6) [2XY] <121,000円> はメーカーオプション。 Photo (インテリア・左上): CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。内装色のブラック/イエローブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 Photo (インテリア・左下): CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。内装色のフロマージュは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 Photo (インテリア・右上): CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。内装色のブラック/サドルタンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 Photo (インテリア・右下): CROSSOVER RS (2.4Lターボハイブリッド車)。内装色はブラック。 *1. 沖縄地区は価格が異なります。*2. 北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 ■価格はメーカー希望小売価格<(消費税10%込み)> 24年4月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■価格はタイヤバンク応急修理キット付の価格です。 ■価格にはオプション価格は含まれていません。 ■保険料、税金(除消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。 ■画面はハメ込み合成です。 ■自動車リサイクル法の施行により、P50記載のリサイクル料金が別途必要となります。 ■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。 ■内装色・シート表皮はグレードによって設定が異なります。詳しくはP46の内外配色一覧表をご覧ください。

CROSSOVER Z



フロマージュ



ブラック



ブラック/サドルタン

	ハイブリッド車
	E-Four
メーカー希望小売価格*1 (消費税抜き)	5,950,000 円 (5,409,091 円)
北海道地区 メーカー希望小売価格*2 (消費税抜き)	5,959,900 円 (5,418,091 円)
全長	4,930mm
全幅	1,840mm
全高	1,540mm
燃費	WLTCモード:22.2km/L
総排気量	2.487L

Photo(スタイリング):CROSSOVER Z(2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのプレシャスブロンズ(4Y6)<55,000円>はメーカーオプション。 Photo(インテリア・左上):CROSSOVER Z(2.5Lハイブリッド車)。内装色のフロマージュは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 Photo(インテリア・左下):CROSSOVER Z(2.5Lハイブリッド車)。内装色のブラック/サドルタンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。 Photo(インテリア・右上):CROSSOVER Z(2.5Lハイブリッド車)。内装色はブラック。 *1. 沖縄地区は価格が異なります。*2. 北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 ■価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)'24年4月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■価格はタイヤパンク応急修理キット付の価格です。 ■価格にはオプション価格は含まれていません。 ■保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断了したカットモデルです。 ■画面はハメ込み合成です。 ■自動車リサイクル法の施行により、P50記載のリサイクル料金が別途必要となります。 ■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。 ■内装色・シート表皮はグレーによって設定が異なります。詳しくはP46の内外配色一覧表をご覧ください。

CROSSOVER G



ブラック

	ハイブリッド車
	E-Four
メーカー希望小売価格*1 (消費税抜き)	5,150,000 円 (4,681,818 円)
北海道地区 メーカー希望小売価格*2 (消費税抜き)	5,159,900 円 (4,690,818 円)
全長	4,930mm
全幅	1,840mm
全高	1,540mm
燃費	WLTCモード:22.4km/L
総排気量	2.487L

Photo(スタイリング):CROSSOVER G(2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×プレシャスホワイトパール(090)[2XW]＜165,000円＞はメーカーオプション。 Photo(インテリア):CROSSOVER G(2.5Lハイブリッド車)。内装色はブラック。 *1. 沖縄地区は価格が異なります。*2. 北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 ■価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)'24年4月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■価格はタイヤバンク応急修理キット付の価格です。 ■価格にはオプション価格は含まれていません。 ■保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。 ■画面はハメ込み合成です。 ■自動車リサイクル法の施行により、P50記載のリサイクル料金が別途必要となります。 ■燃料消費率は定められた試験条件のもとの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。 ■内装色・シート表皮はグレードによって設定が異なります。詳しくはP46の内外配色一覧表をご覧ください。

CROSSOVER X



ブラック

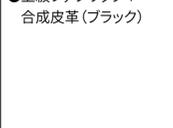
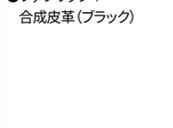
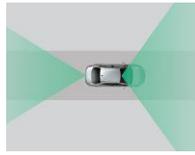
	ハイブリッド車
	E-Four
メーカー希望小売価格*1 (消費税抜き)	4,400,000 円 (4,000,000 円)
北海道地区 メーカー希望小売価格*2 (消費税抜き)	4,409,900 円 (4,009,000 円)
全長	4,930mm
全幅	1,840mm
全高	1,540mm
燃費	WLTCモード:22.4km/L
総排気量	2.487L

Photo (スタイリング): Crossover X (2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーはブラック(202)。 Photo (インテリア): Crossover X (2.5Lハイブリッド車)。内装色はブラック。 *1. 沖縄地区は価格が異なります。*2. 北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 ■価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)'24年4月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■価格はタイヤパンク応急修理キット付の価格です。 ■価格にはオプション価格は含まれていません。 ■保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。 ■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。 ■写真は機能説明のためにボディの一部を切断了したカットモデルです。 ■画面はハメ込み合成です。 ■自動車リサイクル法の施行により、P50記載のリサイクル料金が別途必要となります。 ■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。 ■内装色・シート表皮はグレードによって設定が異なります。詳しくはP46の内外配色一覧表をご覧ください。

グレード別主な標準装備比較表

	CROSSOVER RS	CROSSOVER Z	CROSSOVER G	CROSSOVER X
EXTERIOR				
	●21インチ (切削光輝+ブラック塗装)	●21インチ ノイズリダクション (ダークプレミアムメタリック塗装)	●19インチ (切削光輝+ブラック塗装)	
				
	●車名エンブレム(リヤ/漆黒メッキ)	●グリルシャッター	●車名エンブレム(リヤ/クローム)	
				
●4眼LEDヘッドランプ+LEDクリアランスランプ(センターランプ点灯機能&おむかえ照明機能付)/LEDデイルイト(センターランプ点灯機能付)+LEDフロントターンランプ+ヘッドランプクリーナー	●Bi-Beam LEDヘッドランプ+LEDクリアランスランプ(センターランプ点灯機能&おむかえ照明機能付)/LEDデイルイト(センターランプ点灯機能付)+LEDフロントターンランプ			
				
●本革巻き(ヒーター/タッチセンサー//パドルシフト付)	●本革巻き (ヒーター/タッチセンサー付)	●本革巻き		
				
●12.3インチHDディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus ■写真はCROSSOVER RS (2.4L ターボハイブリッド車)。		●12.3インチHDディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応)	●ディスプレイオーディオレス	

INTERIOR

	CROSSOVER RS	CROSSOVER Z	CROSSOVER G	CROSSOVER X
INTERIOR				
	●内装色(ブラック) ●本革(ブラック)	●内装色(ブラック) ●本革(ブラック)	●内装色(ブラック)	●内装色(ブラック)
				
	●内装色(ブラック/イエローブラウン) ●本革(ブラック)	●内装色(ブラック/サドルタン) ●本革(ブラック)	●内装色(ブラック)	●内装色(ブラック)
				
●内装色(ブラック/サドルタン) ●本革(ブラック)	●内装色(フロアマージュ) ●本革(フロアマージュ)	●内装色(ブラック)	●ファブリック+合成皮革(ブラック)	
				
●内装色(フロアマージュ) ●本革(フロアマージュ)			●ファブリック+合成皮革(ブラック)	
				
	●助手席肩口パワースイッチあり ■写真はCROSSOVER RS (2.4L ターボハイブリッド車)。		●助手席肩口パワースイッチなし ■写真はCROSSOVER X (2.5L ハイブリッド車)。	
				
●マニュアルケース ●クラウン専用キー		●スマートキー		
				
	●ドライブレコーダー(前後方)			

環境

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

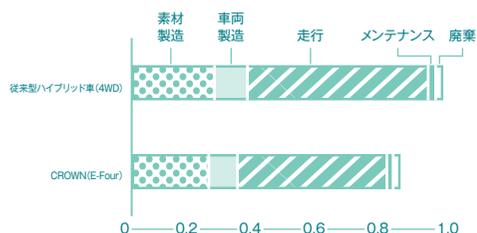
<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。

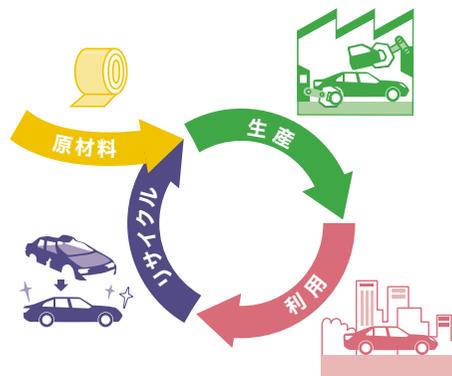
LCA実施結果 CO₂二酸化炭素 (Carbon Dioxide)



トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」:Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ クラウン 環境仕様

車両型式	5AA-TZSH35	6AA-AZSH35
車両重量	1,890~1,940 kg	1,740~1,760 / 1,790~1,840
CO ₂ 排出量*1 (WLTC)	148 g/km	104 / 105
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省) 平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2	認定レベルまたは適合規制(国土交通省) 平成30年基準排出ガス75%低減レベル*2
規制区分	CO/NMHC/NOx/PM g/km	1.15/0.050/0.025/0.005 / 1.15/0.025/0.013/0.005
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制 M1B2A
加速(規制値)/定常/近接	dB	71/-/70
冷媒の種類(GWP値*3)/使用量	g	HFO-1234yf(1*4)/600
環境負荷物質削減	鉛/水銀	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*5)/自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)
	カドミウム/六価クロム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)/自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)
車室内VOC*7		自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等に使用/鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルancer、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど
	水銀	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター
	六価クロム	六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他
	カドミウム	カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり
	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー等

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。

*2. WLTCモード走行

*3. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)

*4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。

*5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。

*6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。

*7. VOC: Volatile Organic Compounds

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表(全車)

※リサイクル料金は'24年4月時点の金額。

リサイクル預託金				資金管理料金	合計
シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
12,000円	2,800円	—	130円	290円	15,220円

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。

トヨタ クラウン 主要諸元表

	2.4L ターボハイブリッド車		2.5L ハイブリッド車				
			4WD				
	CROSSOVER RS		CROSSOVER Z		CROSSOVER G		CROSSOVER X
■車両型式・重量・性能							
車両型式	5AA-TZSH35-AETAT		6AA-AZSH35-AEXGB		6AA-AZSH35-AEXMB		6AA-AZSH35-AEXBB
車両重量	kg	1,910 ※1※2※3	1,810 ※1※2※3		1,760 ※4		1,750 ※4
車両総重量	kg	2,185 ※1※2※3	2,085 ※1※2※3		2,035 ※4		2,025 ※4
最小回転半径	m	5.4					
燃料消費率	WLTC	km/L	15.7		22.2		22.4
	(国土交通省審査値)	市街地モード km/L	12.6		20.9		21.2
		郊外モード km/L	15.8		23.6		23.8
		高速道路モード km/L	17.6		21.9		22.1
主要燃費改善対策		ハイブリッドシステム、アイドリングストップ装置、筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、充電制御					ハイブリッドシステム、アイドリングストップ装置、筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、充電制御、電気式無段変速機
■寸法・定員							
全長	mm	4,930					
全幅	mm	1,840					
全高	mm	1,540					
ホイールベース	mm	2,850					
トレッド	フロント/リヤ	mm	1,605/1,615 ※5		1,605/1,615 ※5		1,600/1,605
最低地上高	※6	mm	145				
室内	長/幅/高 ※6	mm	1,980/1,540/1,170 ※7		1,980/1,540/1,170		
乗車定員	名	5					
■エンジン							
型式	T24A-FTS		A25A-FXS				
総排気量	L	2.393		2.487			
種類	直列4気筒						
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン		無鉛レギュラーガソリン				
内径×行程	mm	87.5×99.5		87.5×103.4			
最高出力(ネット)	kW(PS)/r.p.m.	200(272)/6,000		137(186)/6,000			
最大トルク(ネット)	N・m(kgf・m)/r.p.m.	460(46.9)/2,000~3,000		221(22.5)/3,600~5,200			
燃料供給装置	筒内直接+ポート燃料噴射装置(D-4ST)		筒内直接+ポート燃料噴射装置(D-4S)				
燃料タンク容量	L	55					
■走行装置・駆動方式							
サスペンション	フロント	マクファーソンストラット式コイルスプリング					
	リヤ	マルチリンク式コイルスプリング					
ブレーキ	フロント/リヤ	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク					
	作動方式	油圧・回生ブレーキ協調式					
駆動方式	E-Four Advanced(電気式4輪駆動方式)		E-Four(電気式4輪駆動方式)				
■トランスミッション・変速比・減速比							
トランスミッション	Direct Shift-6AT		電気式無段変速機				
変速比(第1速/第2速/第3速/第4速/第5速/第6速/後退)	4.474/2.517/1.560/1.143/0.850/0.671/3.196		-				
減速比	フロント:3.329/リヤ:10.755		フロント:3.605/リヤ:10.781				
■フロントモーター							
型式	1ZM		3NM				
種類	交流同期電動機		交流同期電動機				
最高出力	kW(PS)	61(82.9)		88(119.6)			
最大トルク	N・m(kgf・m)	292(29.8)		202(20.6)			
■リヤモーター							
型式	1YM		4NM				
種類	交流同期電動機		交流同期電動機				
最高出力	kW(PS)	59(80.2)		40(54.4)			
最大トルク	N・m(kgf・m)	169(17.2)		121(12.3)			
■動力用主電池							
種類	ニッケル水素電池						
容量	Ah	5					

※1. リヤサポートパッケージを装着した場合、10kg増加します。 ※2. パノラマルーフを装着した場合、20kg増加します。 ※3. 18インチ アルミホイールを装着した場合、20kg減少します。 ※4. 18インチ アルミホイールを装着した場合、10kg減少します。 ※5. 18インチアルミホイールを装着した場合、トレッド(フロント/リヤ)は1,600mm/1,605mmとなります。 ※6. 社内測定値 ※7. パノラマルーフを装着した場合は、室内高は1,140mmとなります。

■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

■エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。

車両によっては自動車重量税などの軽減措置を受けることができます。詳しくはエコカー減税紹介ページ(<https://toyota.jp/eccocar/about1/>)をご確認、または販売店におたずねください。

■“CROWN”“Toyota Teammate”“TOYOTA SAFETY SENSE”“T-Connect”“TN-GA”“E-Four”“TOYOTA D-4S”“TOYOTA D-4ST”“VVT-i”“VDIM”“VSC”“TRC”“マイカーサーチ”“ECB”“コンライト”“START YOUR IMPOSSIBLE”はトヨタ自動車(株)の商標です。

■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値

■製造事業者:トヨタ自動車株式会社

Photo(表紙):CROSSOVER Z(2.5Lハイブリッド車)。ボディカラーのブラック(227)×プレシャスブロンズ(4Y6)[2XZ]はメーカーオプション。 ■写真は合成です。

For Your Life 暮らしの中で、私たちトヨタにできること		アフターサービスなら トヨタサービス toyota.jp/after_service/
クルマを借りるなら TOYOTA Rent a Car www.toyota.co.jp/rent/	中古車を買うなら  gazoo.com/U-Car/nintel/index.html	
クルマを売るなら トヨタのクルマ買取 www.toyota.jp/akaitori/	クルマ好きが集まる場所 GAZOO gazoo.com	
クレジットカードなら  tscubic.com	スマホ買うなら トヨタのau  toyota.jp/information/campaign/pipi/	
家を立てるなら  www.toyotahome.co.jp	マリンレジャーなら TOYOTA MARINE www.toyota.co.jp/marine/	
■上記のサービス・商品につきましては、一部取り扱っていない地域・店舗がございます。		



詳しくは! <https://toyota.jp>

後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

HAT23102-2404

このカタログに関するお問い合わせは、お近くのクラウン取り扱い販売店
または下記のお客様相談センターへ

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

全国共通・フリーコール ☎ 0800-700-7700 オープン時間 365日 9:00 ~ 18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。(このカタログの内容は'24年4月現在のもの)
ボディカラーおよび内装色は撮影の条件、ご覧になる印刷物または画面によって実際の
色とは異なって見えることがあります。

フォーム/チャット/手話通訳のお問い合わせサービスもご利用いただけます。
詳しくはWEBページからご覧ください。



START YOUR IMPOSSIBLE 